

令和3年度実施
男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和3年10月



山鹿市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象及び抽出方法	1
3. 実施期間	1
4. 実施方法	1
5. 回収状況	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果	5
1. 政治と男女共同参画について	5
(1) 政策の企画立案や方針決定への女性の参画拡大	5
(2) 企画立案や方針決定の場に女性が少ない原因	7
2. 防災と男女共同参画について	8
(1) 避難所運営などにおける女性への配慮や支援	8
3. 仕事・家庭生活・地域生活の両立について	9
(1) 生活における優先度の「理想」と「現実」	9
①理想と現実	9
②理想に最も近いもの	10
③現実に最も近いもの	11
(2) 理想の家事分担	12
(3) 家事分担	13
①分担状況	13
②家事分担の話し合い	14
4. 配偶者等からの暴力について	15
(1) 被害経験の有無	15
(2) DV等への新型コロナウイルス感染症の影響	17
(3) 被害の相談	18
(4) 相談できなかった理由	19
5. 男女共同参画の意識について	20
(1) 男女の地位の平等感	20
① 項目全体	20
② 山鹿市（全体）では	21
③ 家庭生活では	23
④ 職場では	25
⑤ 学校教育の場では	27
⑥ 政治の場では	29
⑦ 法律や制度の上では	31

⑧ 社会通念・慣習・しきたり等では	33
(2) 固定的性別役割分担意識	35
(3) 男女共同参画に関する用語の周知度	38
(4) 行政が積極的に取り組むべきこと	39

I 調査概要

1. 調査目的

「第3次山鹿市男女共同参画計画」を策定するにあたり、市民意識の現状を把握し、今後の施策に反映させるために本調査を実施しました。

2. 調査対象及び抽出方法

現役世代の意見を施策に反映させることを目的に、山鹿市在住の満18歳から59歳の男女2,000人を対象とし、住民基本台帳から無作為抽出法により抽出しました。

3. 実施期間

令和3年5月26日から6月25日までの31日間

4. 実施方法

郵送による配布・回収

5. 回収状況

配布数 2,000、回収数 645、有効回収数 645、有効回収率 32.3%

《本報告書の留意点》

※回答結果は、少数第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。

※複数回答（複数の選択肢から2つ以上選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

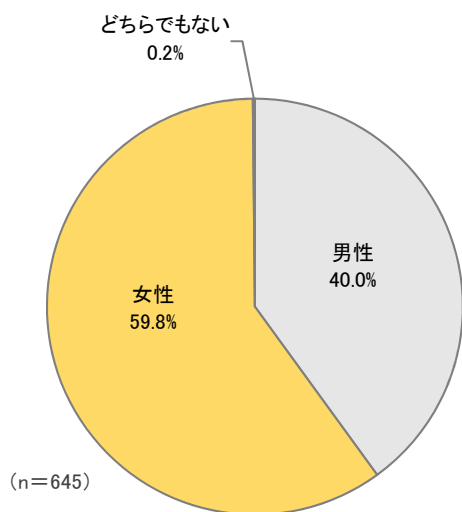
※図表中に「無回答」とあるのは、回答が示されていないものを指します。

※本文中、また図表内の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

※「性・年代別の特徴」には、各設問において性・年代別の特徴が表れていると思われるものを抜粋し掲載しています。

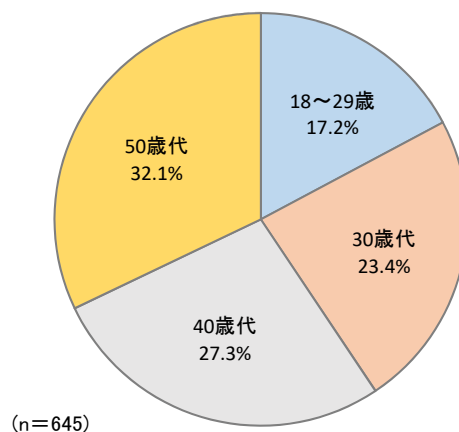
Ⅱ 回答者の属性

【性別】



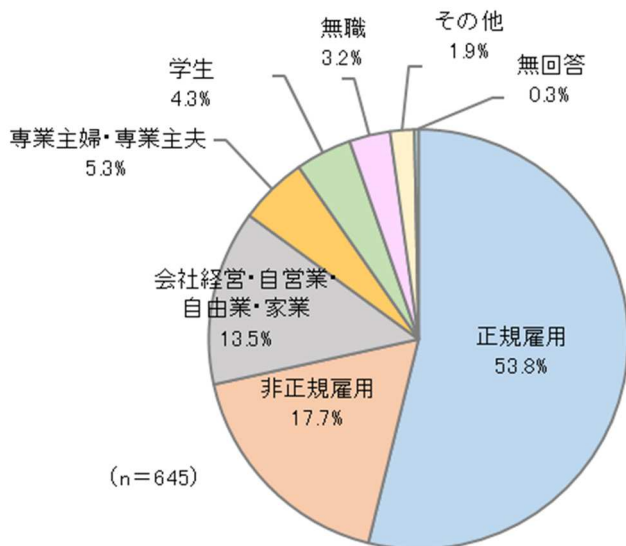
男性 40.0% (258人)
 女性 59.8% (386人)
 どちらでもない 0.2% (1人)

【年代】

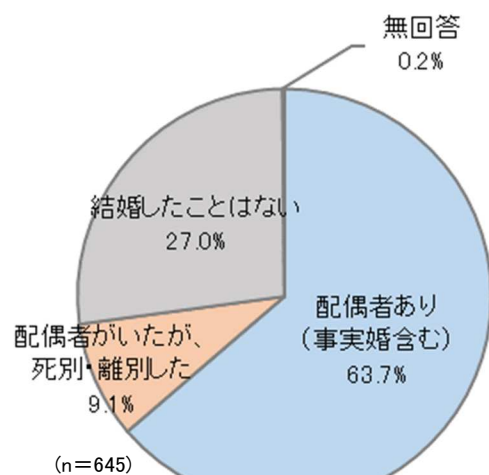


18~29歳 17.2% (111人)
 30歳代 23.4% (151人)
 40歳代 27.3% (176人)
 50歳代 32.1% (207人)

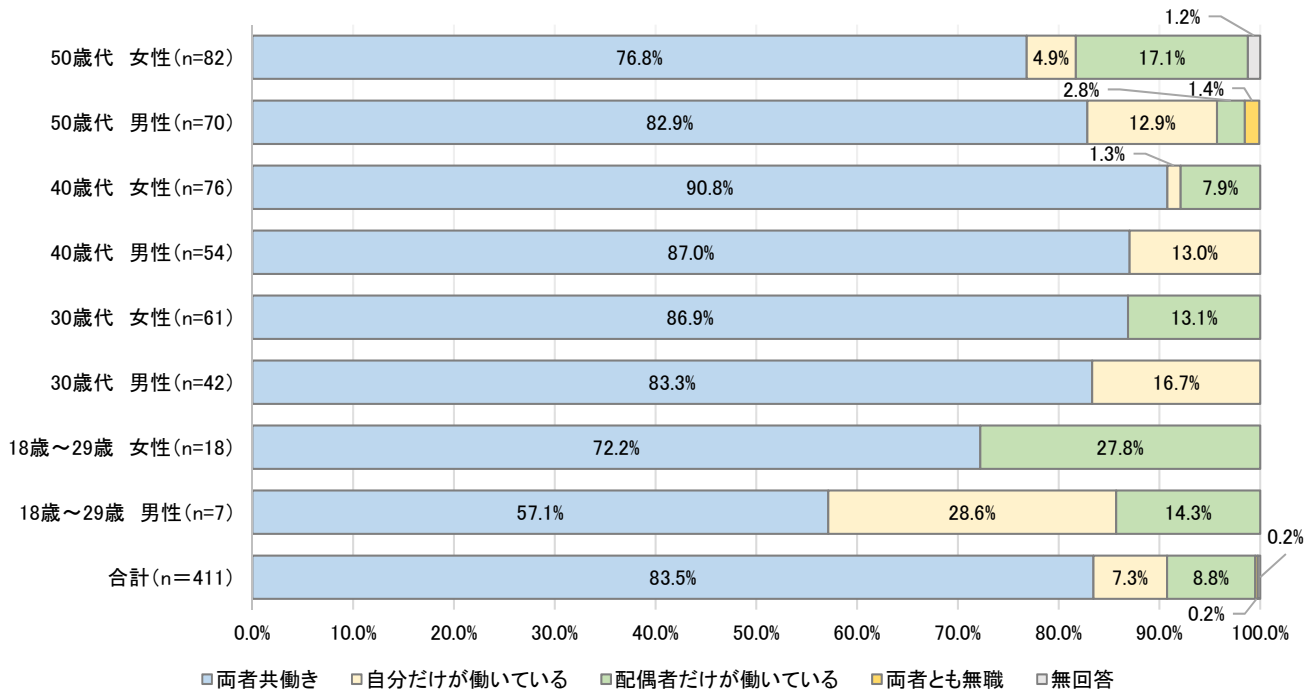
【職業】



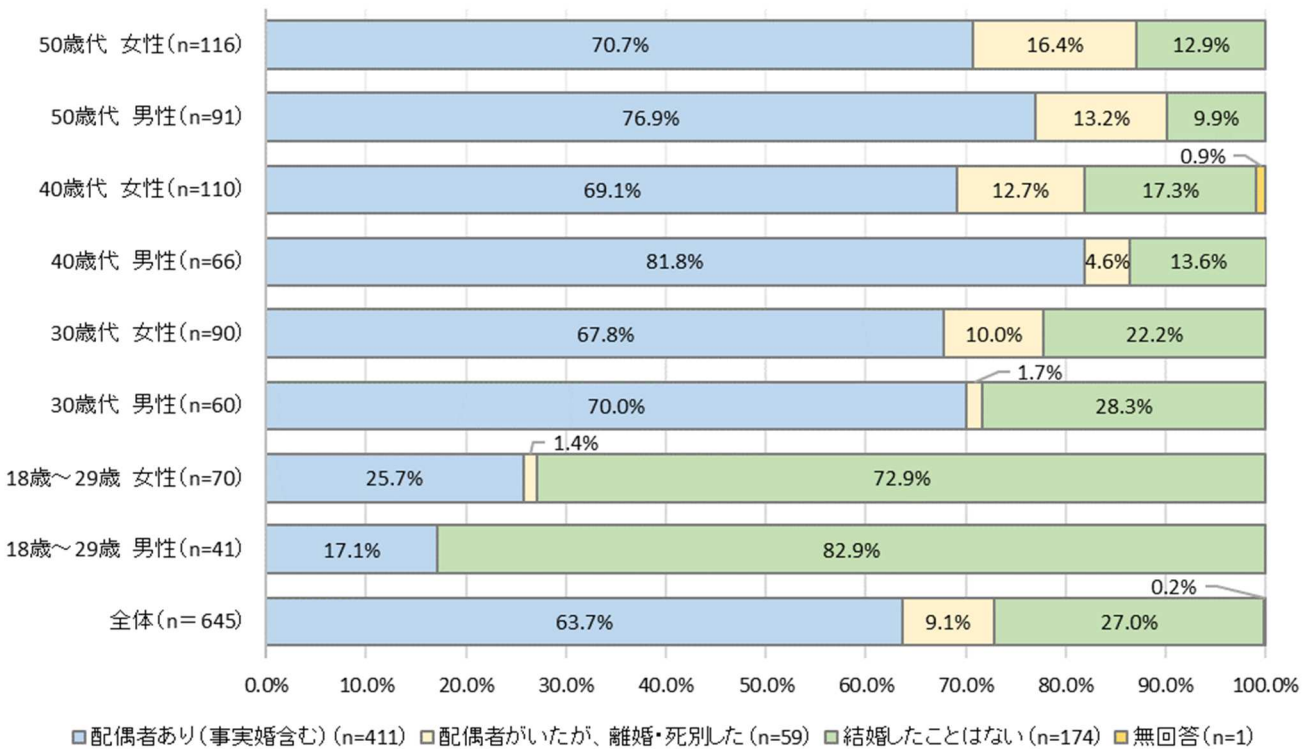
【配偶者の有無】



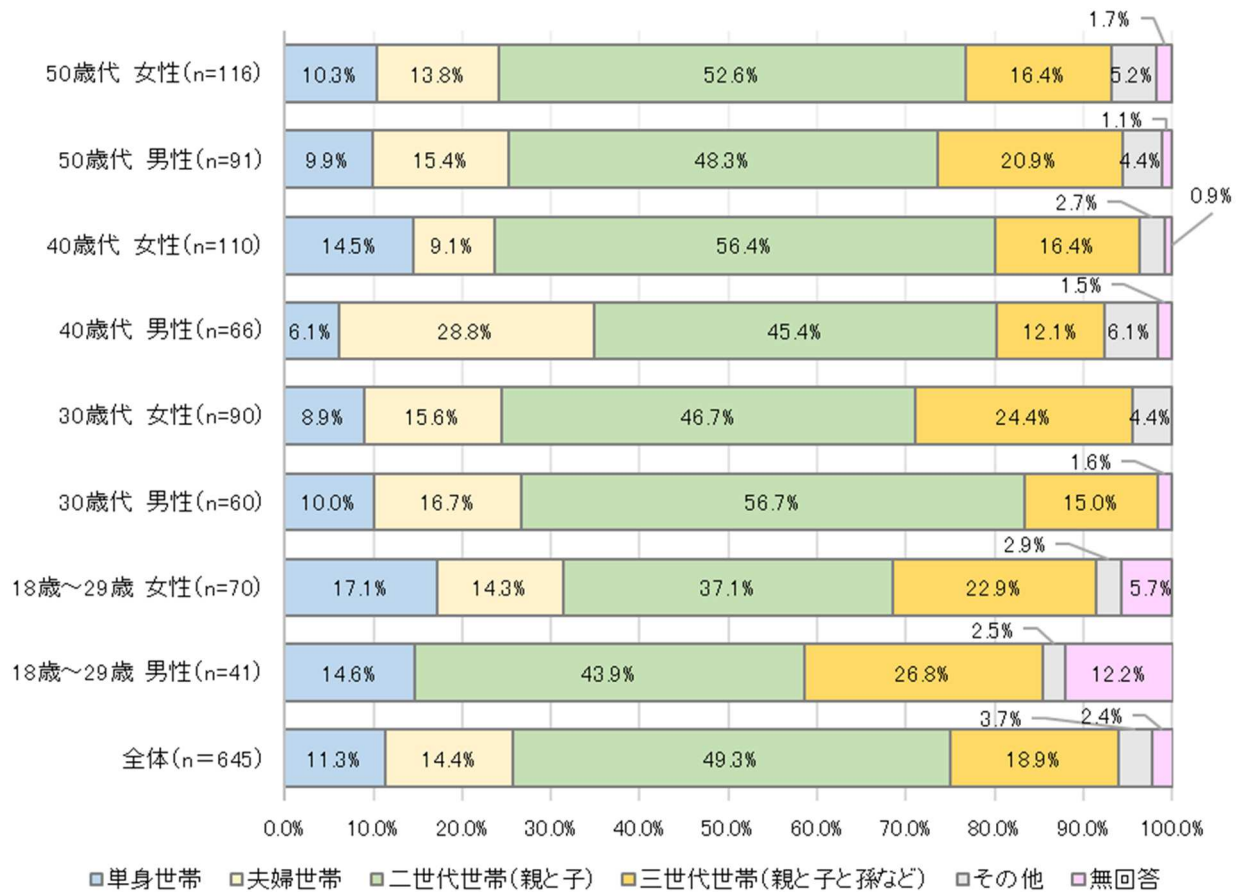
【夫婦の就業状況】



【子どもの有無】



【世帯の状況】

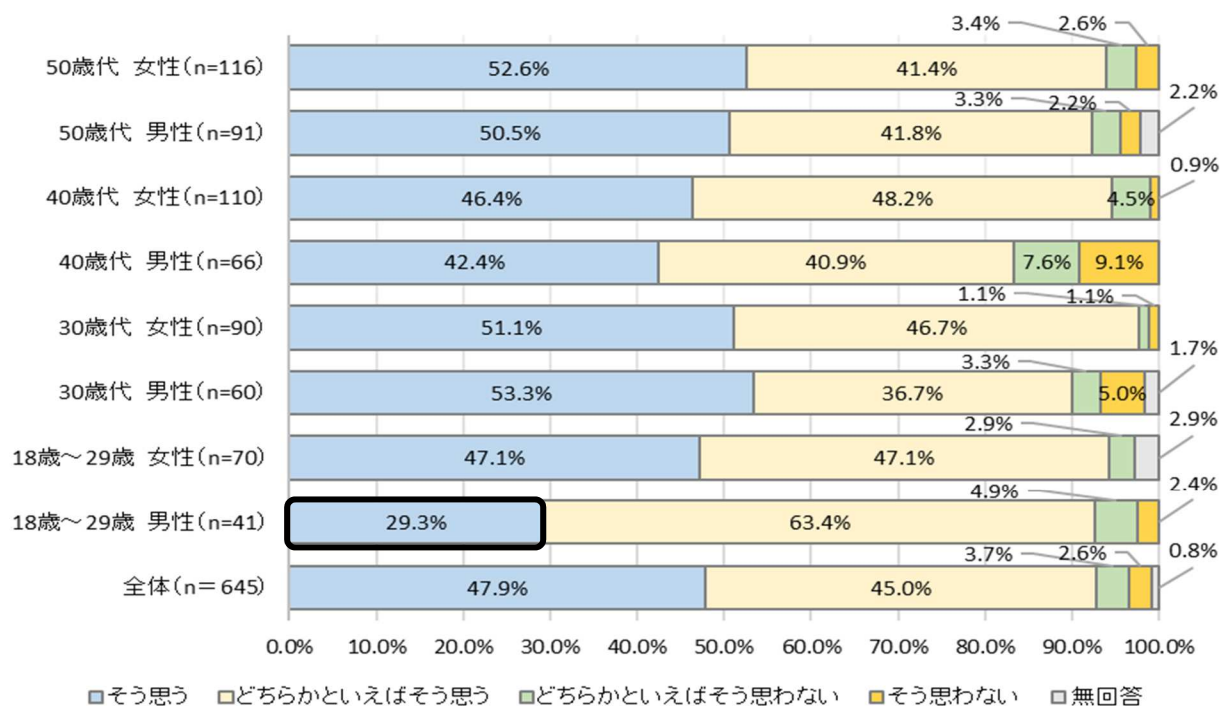


Ⅲ 調査結果

1. 政治と男女共同参画について

(1) 政策の企画立案や方針決定への女性の参画拡大

問8 あなたは、女性の意見がもっと政治等に反映されるように、自治体の首長（知事や市町村長）や議会議員、企業の管理職や団体の役員など、政策の企画立案や方針決定の場に女性が増える方がよいと思いますか。【〇は1つ】



全体（回答の多い順）

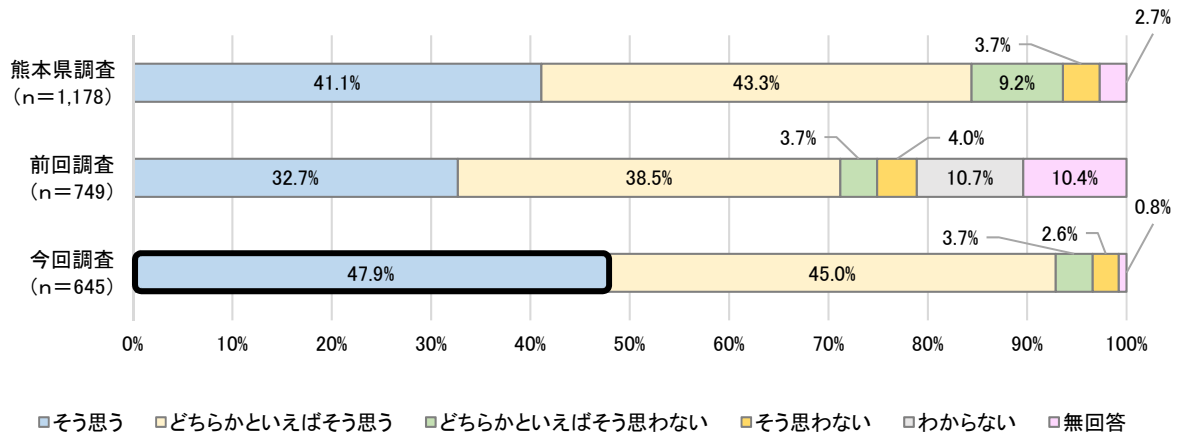
- ①そう思う 47.9%
- ②どちらかといえばそう思う 45.0%
- ③どちらかといえばそう思わない 3.7%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《18～29歳 男性》

- ①どちらかといえばそう思う 63.4%
- ②そう思う 29.3%
- ③どちらかといえばそう思わない 4.9%

【熊本県調査、前回調査との比較】



※熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」(令和元年度)から

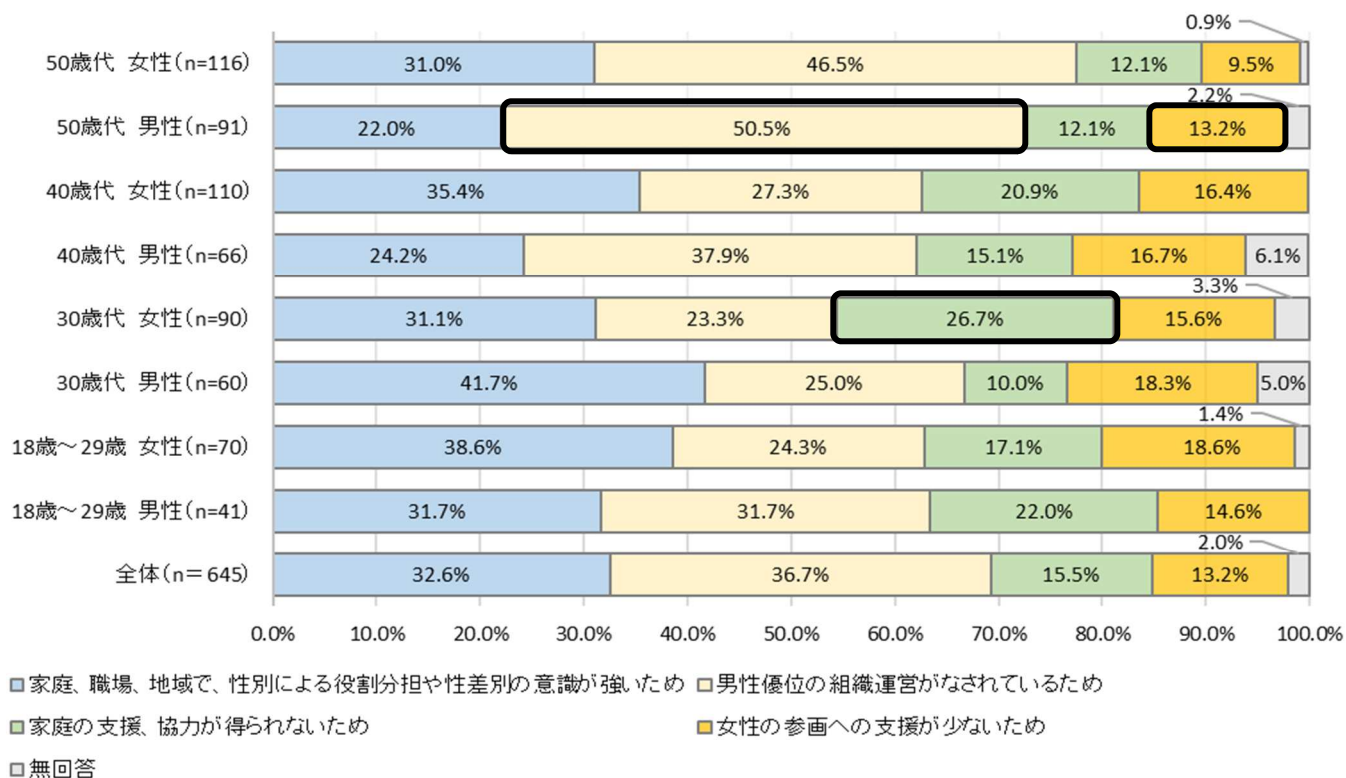
前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」(平成28年度)から

(回答の多い順)

- 熊本県調査 ①どちらかといえばそう思う 43.3%
- 前回調査 ①どちらかといえばそう思う 38.5%
- 今回調査 ①そう思う 47.9%

(2) 企画立案や方針決定の場に女性が少ない原因

問9 政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画がまだ少ない」と言われていますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。
【〇は1つ】



全体（回答の多い順）

- ① 男性優位の組織運営がなされているため 36.7%
- ② 家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため 32.6%
- ③ 家庭の支援、協力が得られないため 15.5%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50歳代 男性》

- ① 男性優位の組織運営がなされているため 50.5%
- ② 家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため 22.0%
- ③ 女性の参画への支援が少ないため 13.2%

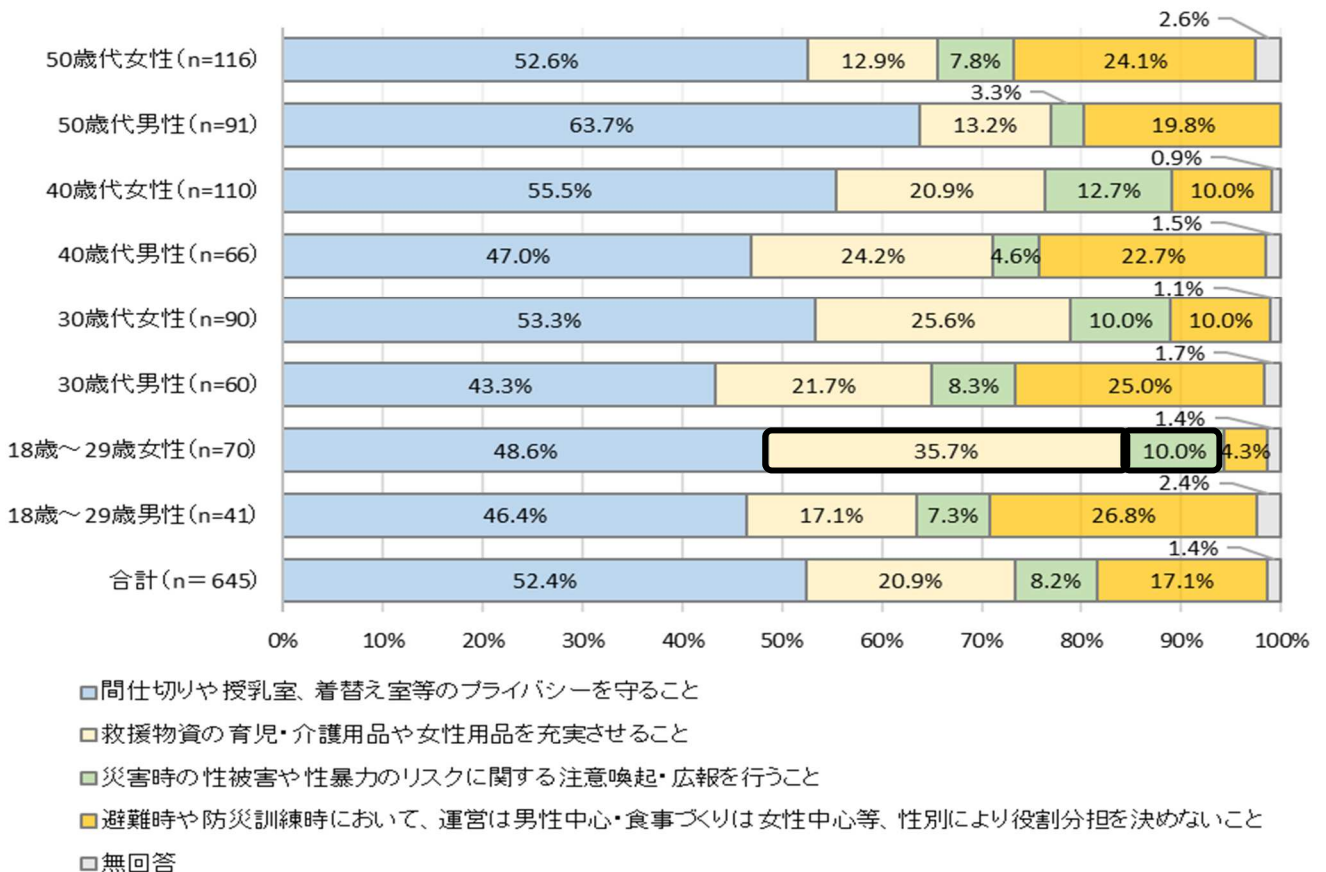
《30歳代 女性》

- ① 家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため 31.1%
- ② 家庭の支援、協力が得られないため 26.7%
- ③ 男性優位の組織運営がなされているため 23.3%

2. 防災と男女共同参画について

(1) 避難所運営などにおける女性への配慮や支援

問 10 「男女共同参画の視点」に基づいて、災害時の避難所運営や対応でどのような配慮・支援が最も必要だと思いますか。【〇は1つ】



全体（回答の多い順）

- ① 間仕切りや授乳室、着替え室等のプライバシーを守ること 52.4%
- ② 救援物資の育児・介護用品や女性用品を充実させること 20.9%
- ③ 避難時や防災訓練時において、運営は男性中心・食事づくりは女性中心等、性別により役割分担を決めないこと 17.1%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《18～29歳 女性》

- ① 間仕切りや授乳室、着替え室等のプライバシーを守ること 48.6%
- ② 救援物資の育児・介護用品や女性用品を充実させること 35.7%
- ③ 災害時の性被害や性暴力のリスクに関する注意喚起・広報を行うこと 10.0%

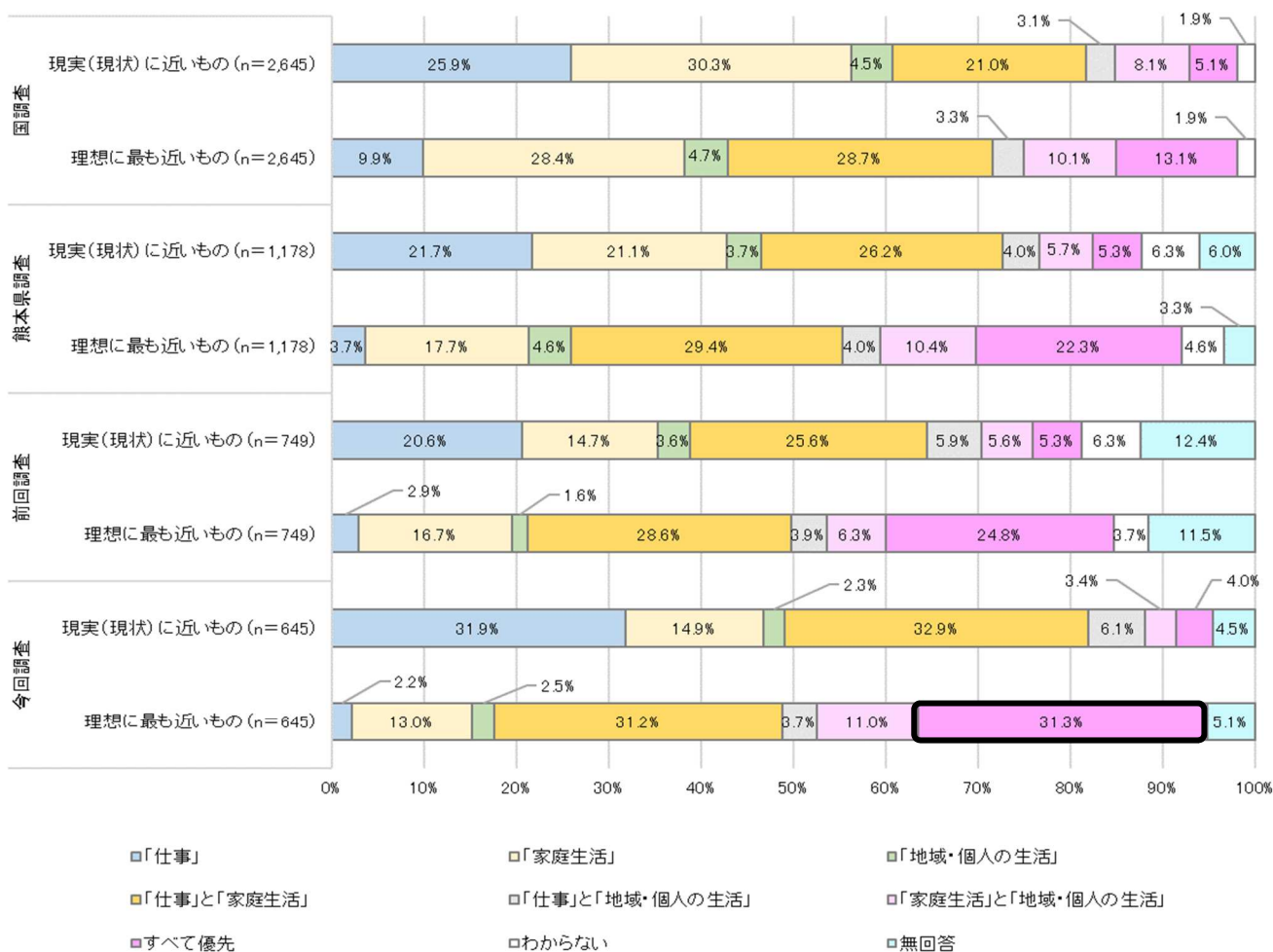
3. 仕事・家庭生活・地域生活の両立について

(1) 生活における優先度の「理想」と「現実」

問 11 あなたの生活の中での優先度について、理想に最も近いもの及び現実にも最も近いものを、それぞれ1つだけ選んでください。【それぞれ〇は1つ】

①現実・理想

【国、熊本県調査・前回調査との比較】



※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」(令和元年度)から

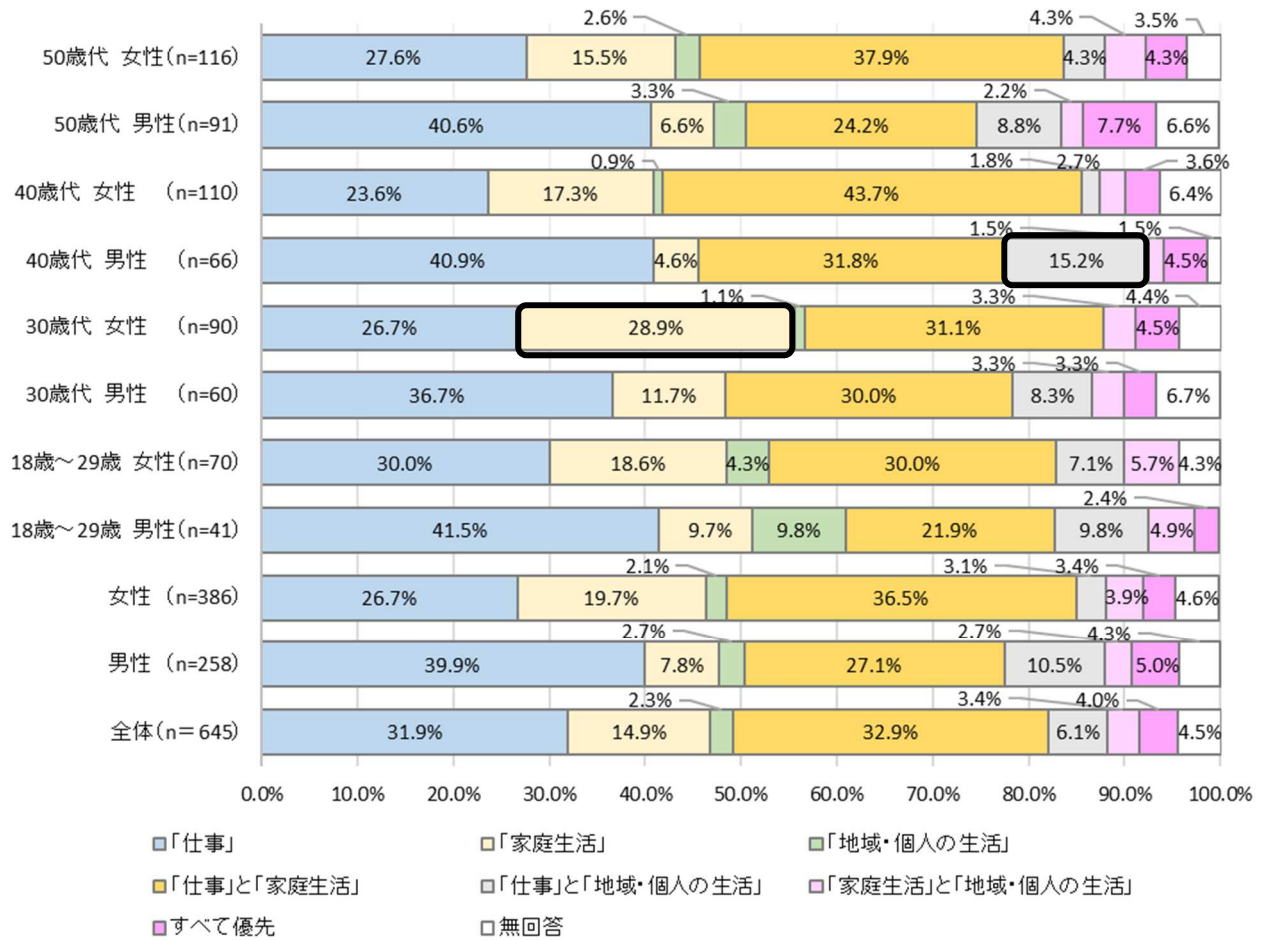
熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」(令和元年度)から

前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」(平成28年度)から

(回答の多い順)

国調査	現実①「家庭生活」	30.3%	理想①「仕事」と「家庭生活」	28.7%
熊本県調査	現実①「仕事」と「家庭生活」	26.2%	理想①「仕事」と「家庭生活」	29.4%
前回調査	現実①「仕事」と「家庭生活」	25.6%	理想①「仕事」と「家庭生活」	28.6%
今回調査	現実①「仕事」と「家庭生活」	32.9%	理想①すべて優先	31.3%

②現実に最も近いもの



全体（回答の多い順）

- ① 「仕事」と「家庭生活」 32.9%
- ② 「仕事」 31.9%
- ③ 「家庭生活」 14.9%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

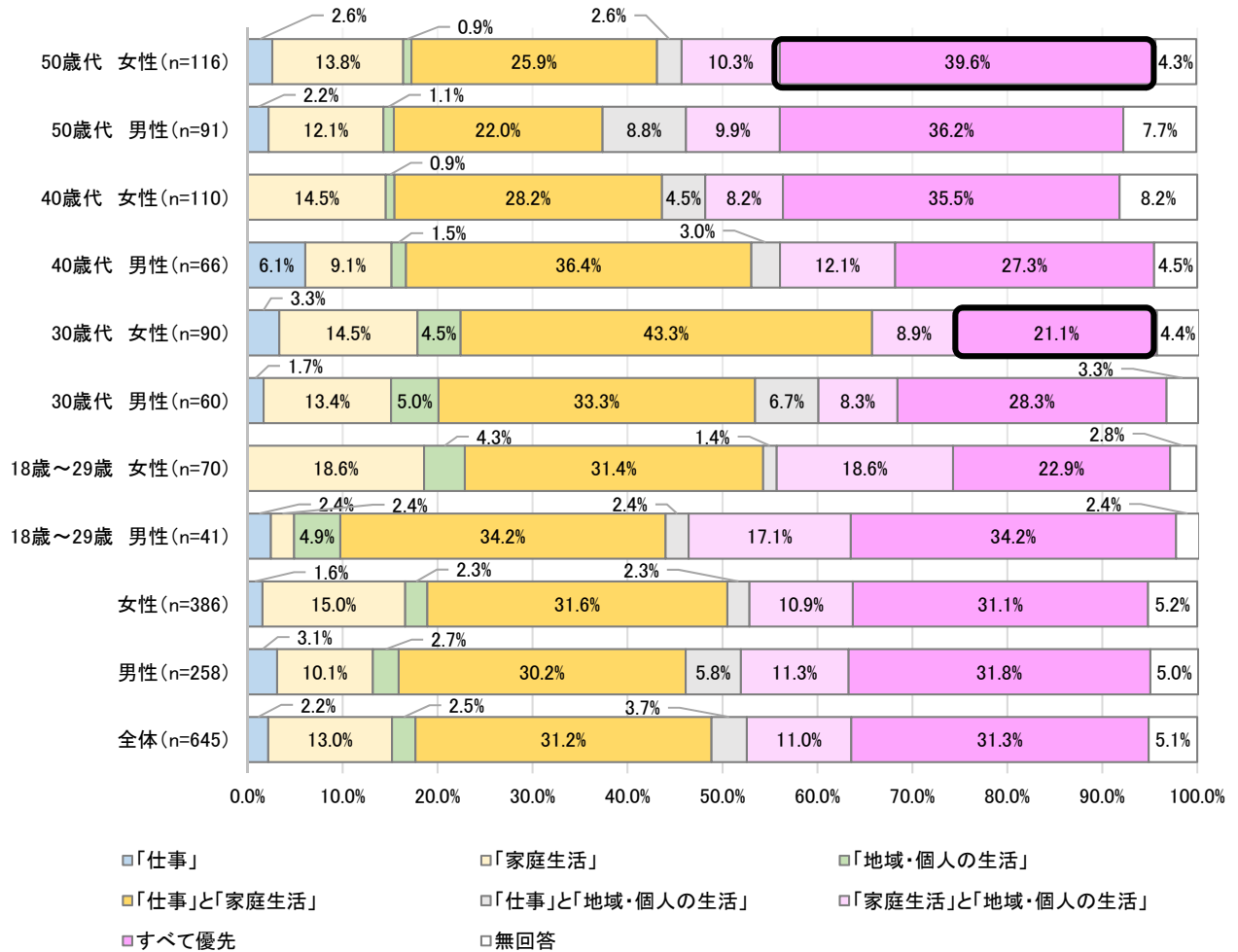
《40歳代 男性》

- ① 「仕事」 40.9%
- ② 「仕事」と「家庭生活」 31.8%
- ③ 「仕事」と「地域・個人の生活」 15.2%

《30歳代 女性》

- ① 「仕事」と「家庭生活」 31.1%
- ② 「家庭生活」 28.9%
- ③ 「仕事」 26.7%

③理想に最も近いもの



全体（回答の多い順）

- ①すべて優先 31.3%
- ②「仕事」と「家庭生活」 31.2%
- ③「家庭生活」 13.0%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50歳代 女性》

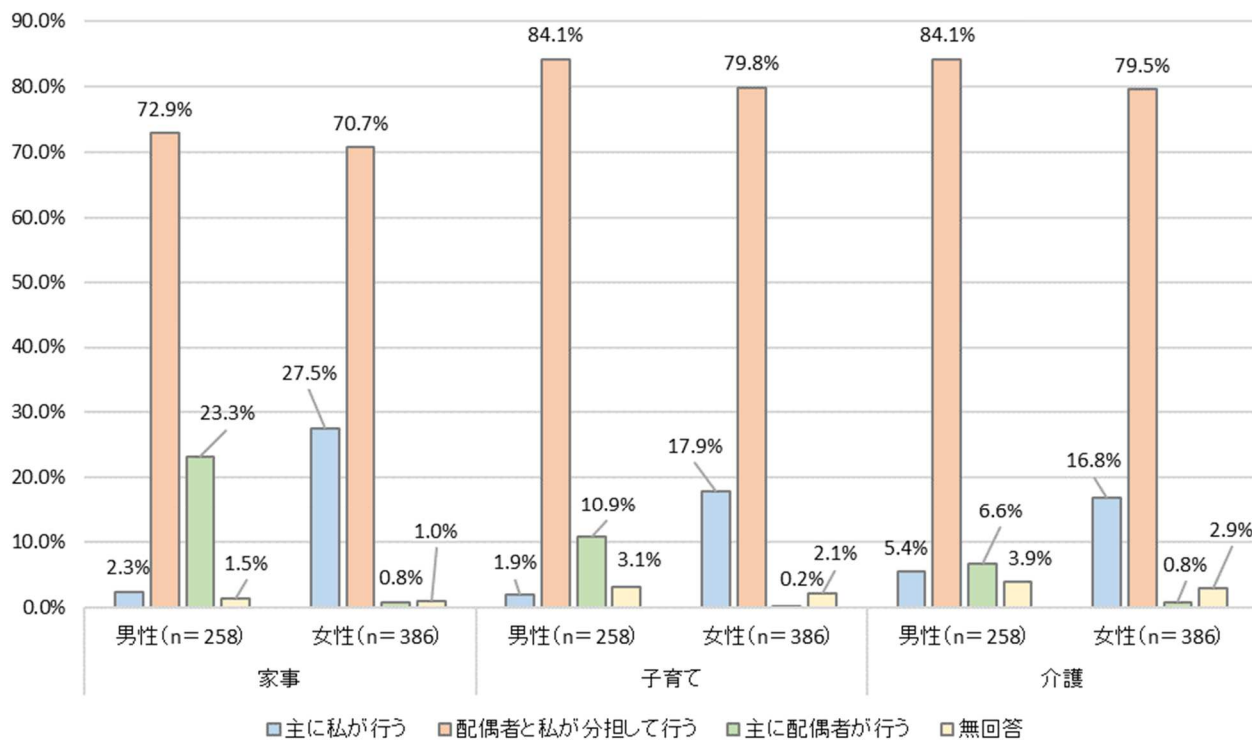
- ①すべて優先 39.6%
- ②「仕事」と「家庭生活」 25.9%
- ③「家庭生活」 13.8%

《30歳代 女性》

- ①「仕事」と「家庭生活」 43.3%
- ②すべて優先 21.1%
- ③「家庭生活」 14.5%

(2) 理想の家事分担

問 12 家事・子育て・介護についてあなたの理想に最も近いものはどれですか（配偶者、子、介護を必要とする方がいない方はいることを想定してお考えください）。
【それぞれ〇は1つ】



家事（回答の多い順）

《男性》①配偶者と私が行う 72.9% ②主に配偶者が行う 23.3%

《女性》①配偶者と私が行う 70.7% ②主に私が行う 27.5%

子育て（回答の多い順）

《男性》①配偶者と私が行う 84.1% ②主に配偶者が行う 10.9%

《女性》①配偶者と私が行う 79.8% ②主に私が行う 17.9%

介護（回答の多い順）

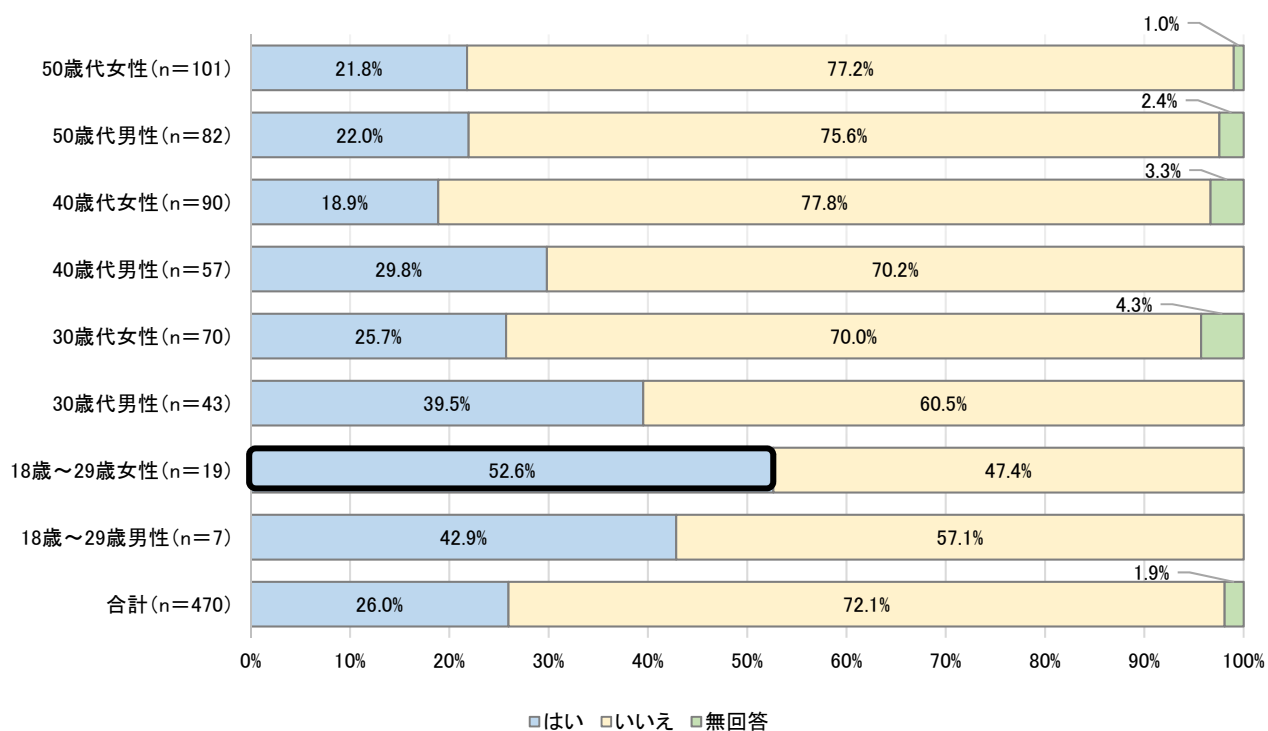
《男性》①配偶者と私が行う 84.1% ②主に配偶者が行う 6.6%

《女性》①配偶者と私が行う 79.5% ②主に私が行う 16.8%

(3) 家事分担

① 分担状況

問 13-① 配偶者がいる（いた）方におたずねします。あなたと配偶者の家事の分担状況は、平等であると思いますか（思いましたか）。【どちらかに○】



配偶者がいる（いた）男女全体における割合（回答の多い順）

- ①いいえ 72.1%
- ②はい 26.0%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《40歳代 女性》

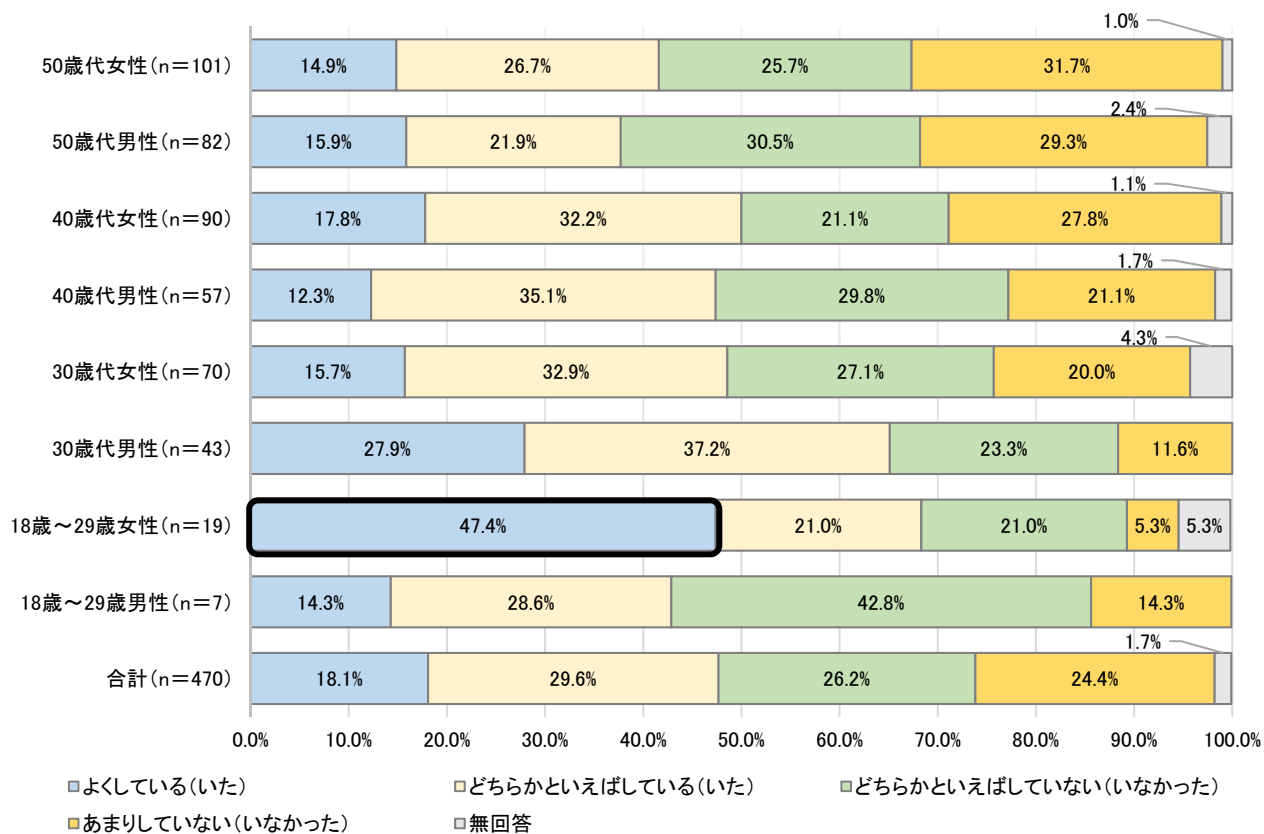
- ①いいえ 77.8%
- ②はい 18.9%

《18～29歳 女性》

- ①はい 52.6%
- ②いいえ 47.4%

②家事分担の話し合い

問 13-② 配偶者がいる（いた）方におたずねします。あなたは家事の分担状況について、配偶者とよく会話をしていますか（いましたか）。【〇は1つ】



配偶者がいる（いた）男女全体（回答の多い順）

- ① どちらかといえばしている（いた） 29.6%
- ② どちらかといえばしていない（いなかった） 26.2%
- ③ あまりしていない（していません） 24.4%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50歳代 男性》

- ① どちらかといえばしていない（いなかった） 30.5%
- ② あまりしていない（していません） 29.3%
- ③ どちらかといえばしている（いた） 21.9%

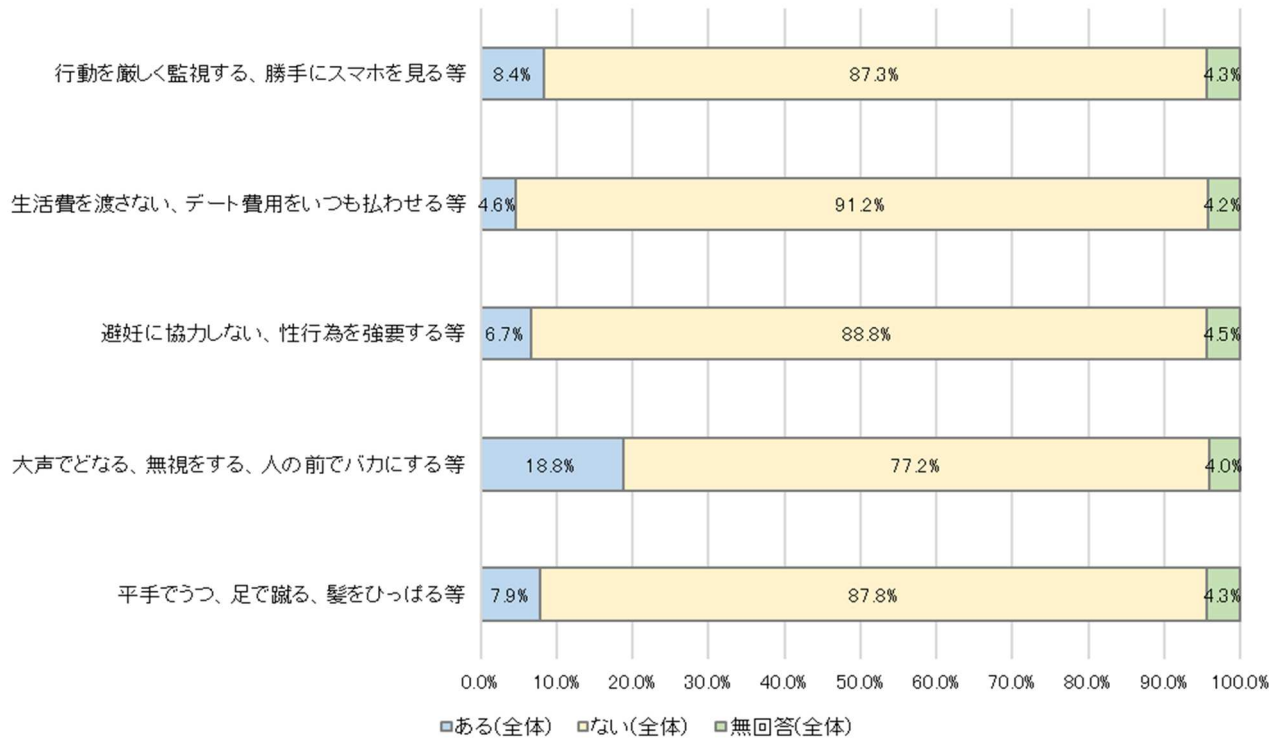
《18～29歳 女性》

- ① よくしている（いた） 47.4%
- ② どちらかといえばしている（いた） 21.0%
- どちらかといえばしていない（いなかった） 21.0%

4. 配偶者等からの暴力について

(1) 被害経験の有無

問 14-① あなたはこれまでに、配偶者や恋人など親しい関係にある相手との間で、次のようなDVにあたる行為をされたことがありますか。【どちらかに○】

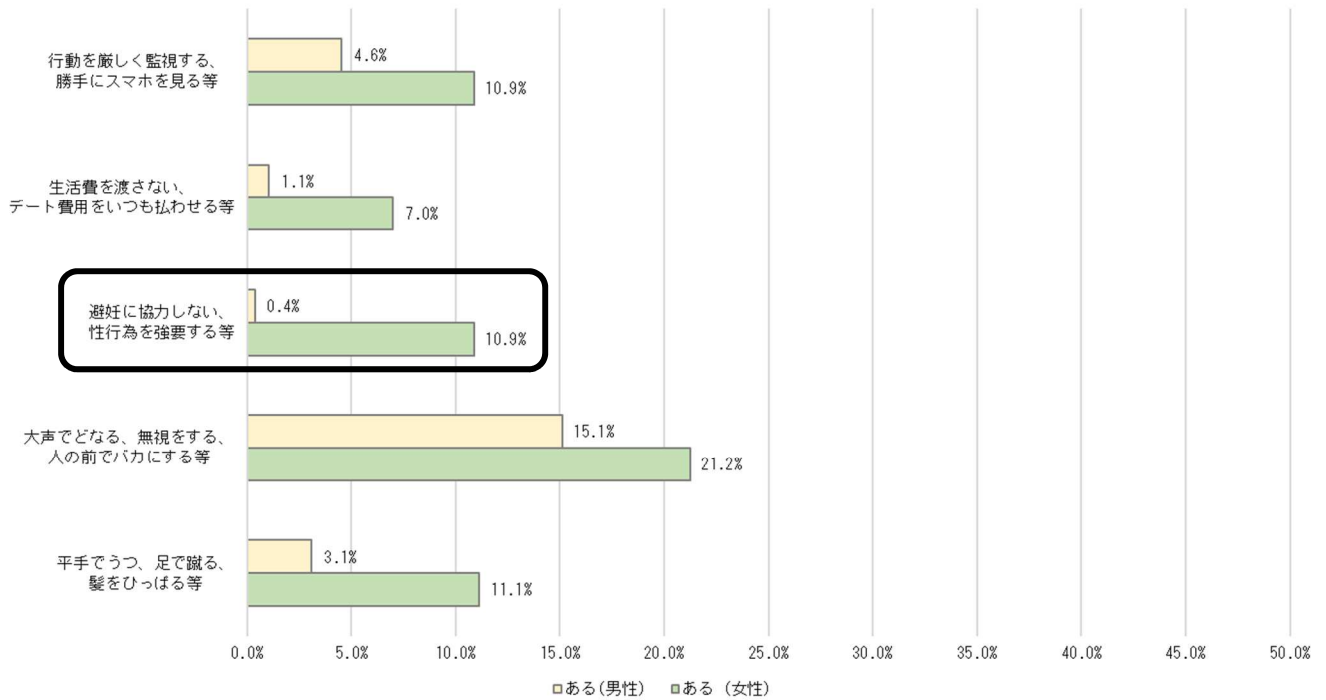


全体「ある」と回答した割合（回答の多い順）

- ①大声でどなる、無視をする、人の前でバカにする等 18.8%
- ②行動を厳しく監視する、勝手にスマホを見る等 8.4%
- ③平手でうつ、足で蹴る、髪をひっぱる等 7.9%
- ④避妊に協力しない、性行為を強要する等 6.7%
- ⑤生活費を渡さない、デート費用をいつも払わせる等 4.6%

【被害経験を持つ割合（性別）】

男性（n=258） 女性（n=386）



性別「ある」と回答した割合（回答の多い順）

《男性》

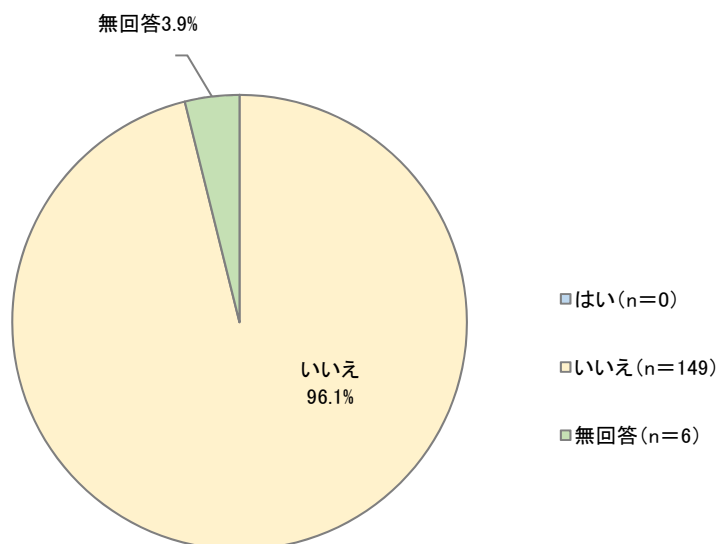
- ① 大声でどなる、無視をする、人の前でバカにする等 15.1%
- ② 行動を厳しく監視する、勝手にスマホを見る等 4.6%
- ③ 平手でうつ、足で蹴る、髪をひっぱる等 3.1%
- ④ 生活費を渡さない、デート費用をいつも払わせる等 1.1%
- ⑤ 避妊に協力しない、性行為を強要する等 0.4%

《女性》

- ① 大声でどなる、無視をする、人の前でバカにする等 21.2%
- ② 平手でうつ、足で蹴る、髪をひっぱる等 11.1%
- ③ 行動を厳しく監視する、勝手にスマホを見る等 10.9%
- ④ 避妊に協力しない、性行為を強要する等 10.9%
- ⑤ 生活費を渡さない、デート費用をいつも払わせる等 7.0%

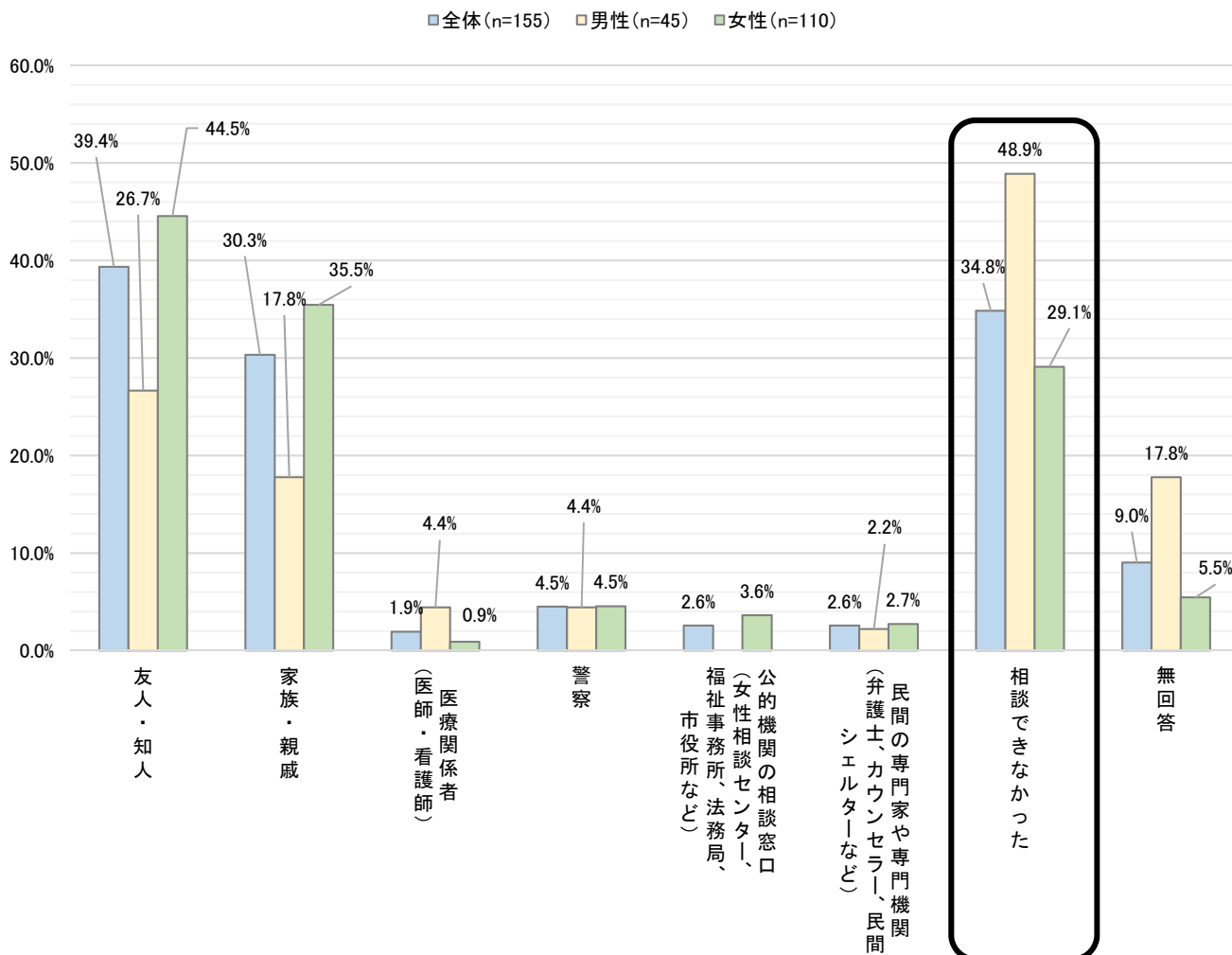
(2) DV等への新型コロナウイルス感染症の影響

問 14-② 被害経験が「ある」と答えた方は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと思われますか。【どちらかに○】



(3) 被害の相談

問 14-③ 被害経験が「ある」と答えた方は、そのことを誰かに相談しましたか。【当てはまるもの全てに○】



性別（無回答を除き回答の多い順）

《男性》

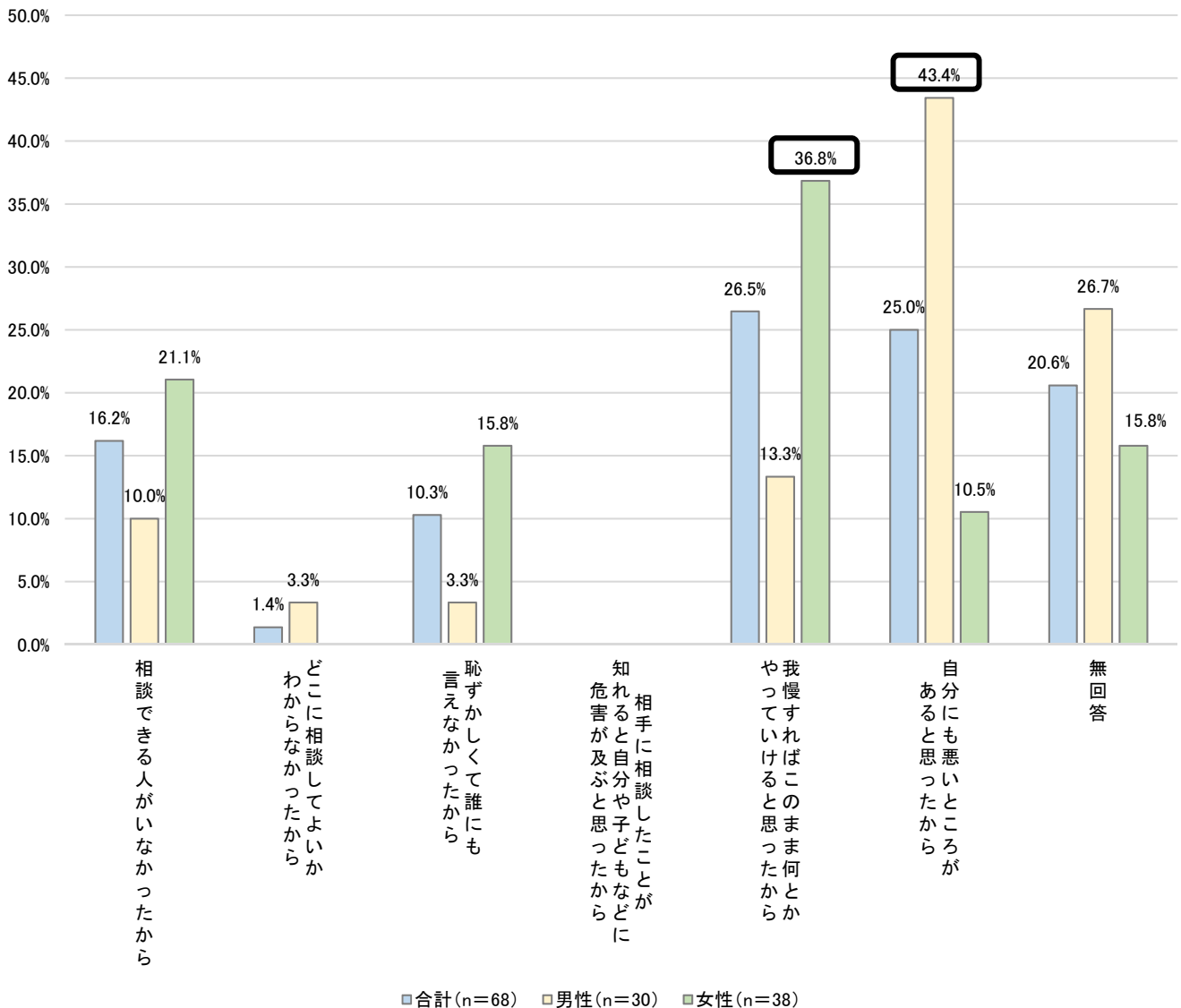
- ① 相談できなかった 48.9%
- ② 友人・知人 26.7%
- ③ 家族・親戚 17.8%
- ④ 医療関係者（医師・看護師） 4.4%
- 警察 4.4%

《女性》

- ① 友人・知人 44.5%
- ② 家族・親戚 35.5%
- ③ 相談できなかった 29.1%
- ④ 警察 4.5%
- ⑤ 公的機関の相談窓口（女性相談センター、福祉事務所、法務局、市役所など） 3.6%

(4) 相談できなかった理由

問 14-④ 「相談できなかった」と答えた方の理由として最もあてはまるものは何ですか。【〇は1つ】



性別（無回答を除き回答の多い順）

《男性》

- ① 自分にも悪いところがあると思ったから 43.4%
- ② 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから 13.3%
- ③ 相談できる人がいなかったから 10.0%

《女性》

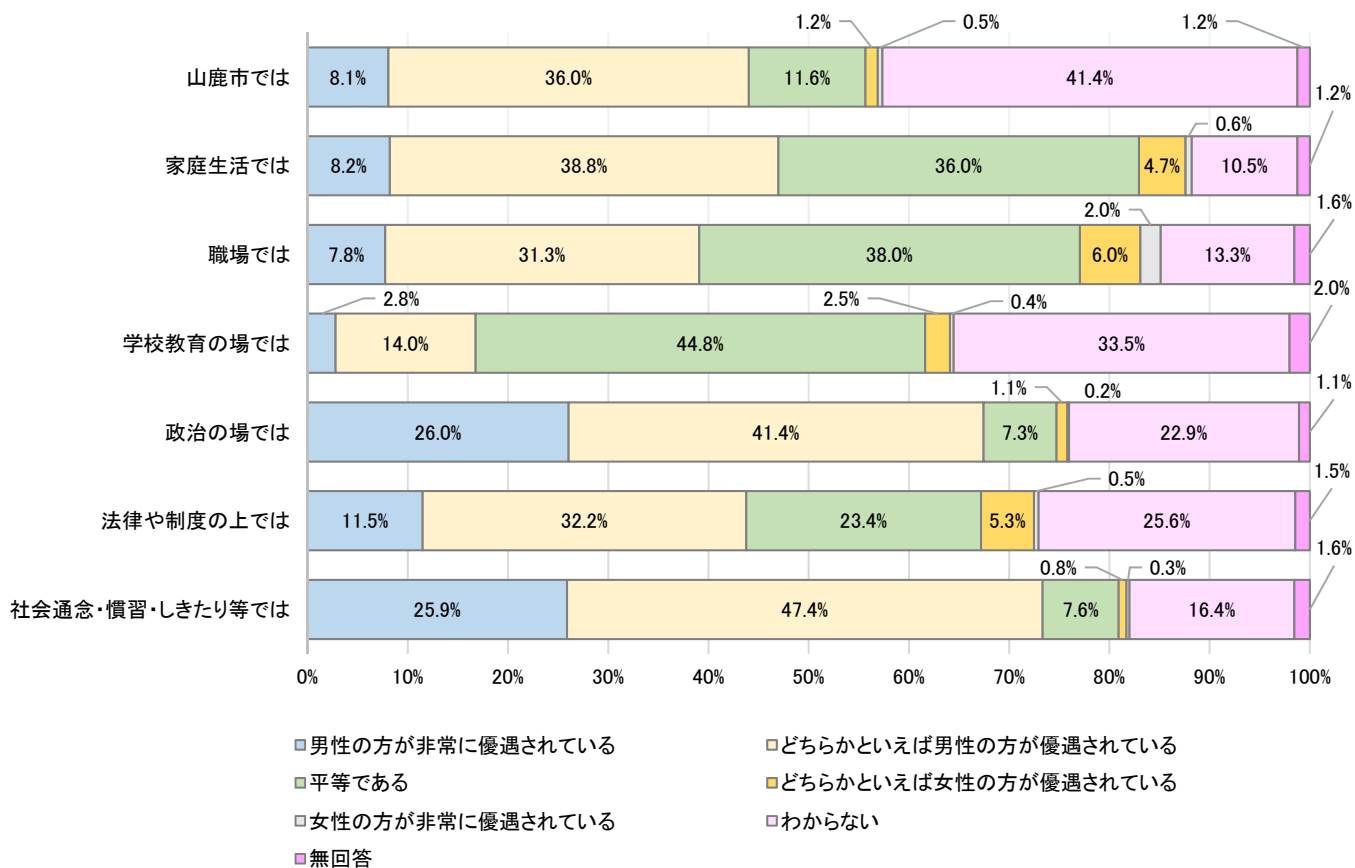
- ① 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから 36.8%
- ② 相談できる人がいなかったから 21.1%
- ③ 恥ずかしくて誰にも言えなかったから 15.8%

5. 男女共同参画の意識について

(1) 男女の地位の平等感

問 15 あなたは、各項目について男女の地位は平等になっていると思いますか。【それぞれ〇は1つ】

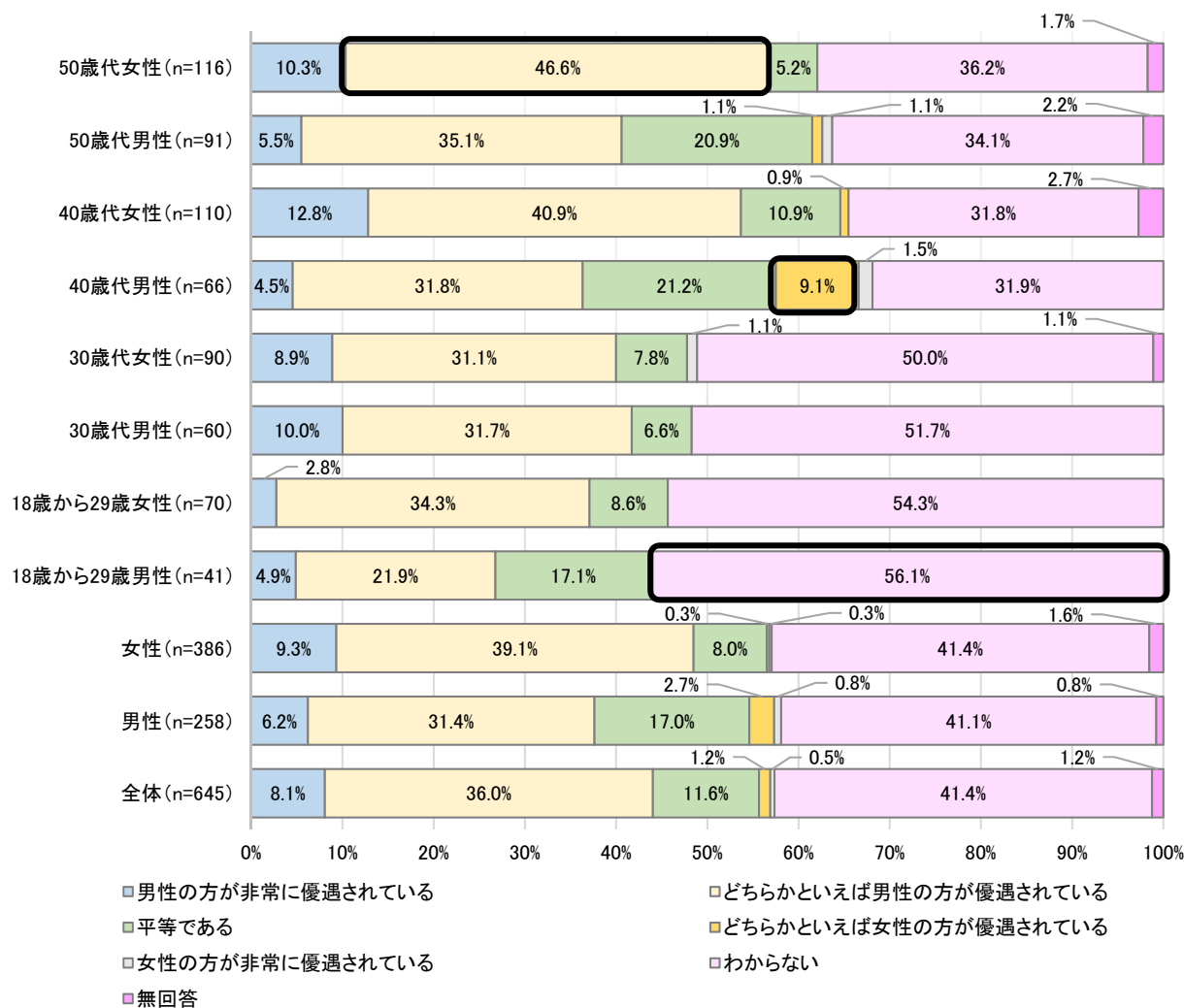
① 項目全体 (n=645)



項目ごと (回答の多い順)

山鹿市では	①わからない	41.4%
家庭生活では	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	38.8%
職場では	①平等である	38.0%
学校教育の場では	①平等である	44.8%
政治の場では	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	41.4%
法律や制度の上では	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	32.2%
社会通念・慣習・しきたり等では	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	47.4%

② 山鹿市（全体）では



全体（回答の多い順）

- ①わからない 41.4%
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている 36.0%
- ③平等である 11.6%
- ④男性の方が非常に優遇されている 8.1%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50歳代 女性》

- ①どちらかといえば男性の方が優遇されている 46.6%
- ②わからない 36.2%
- ③男性の方が非常に優遇されている 10.3%
- ④平等である 5.2%

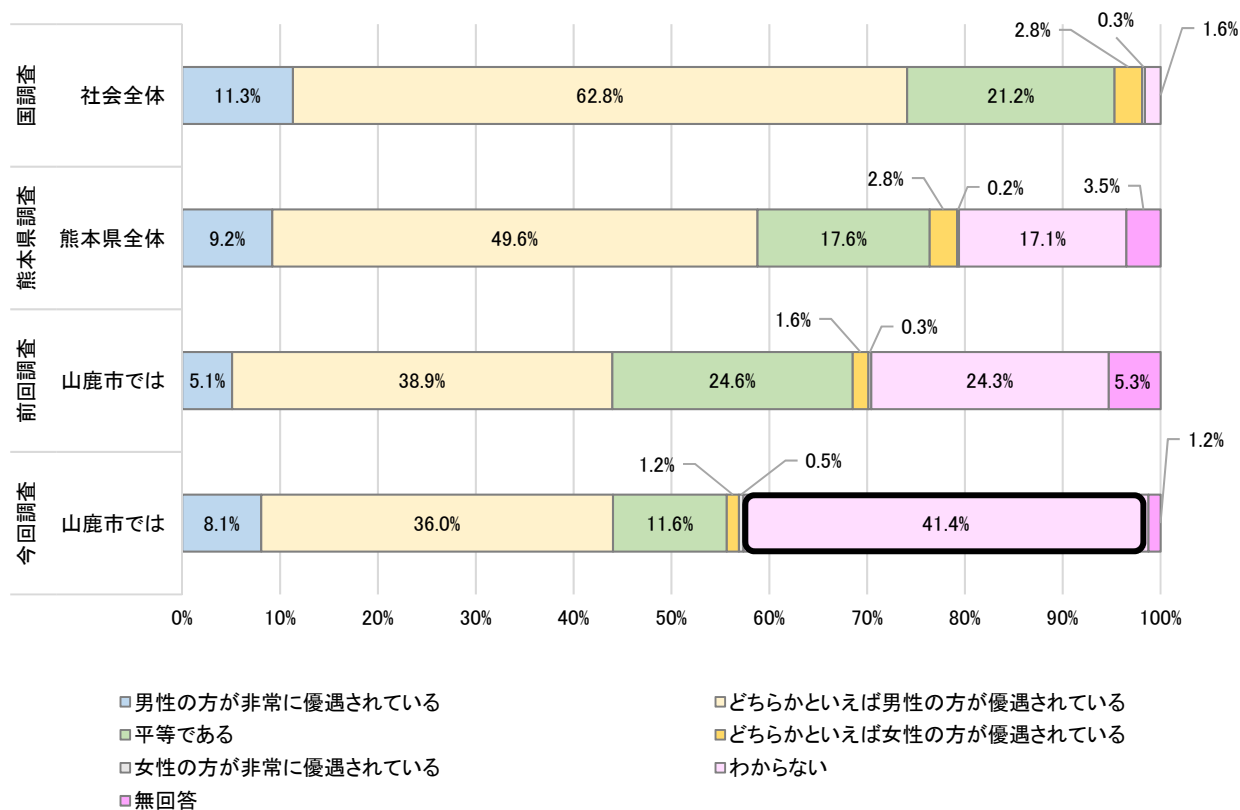
《40歳代 男性》

- ①わからない 31.9%
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている 31.8%
- ③平等である 21.2%
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている 9.1%

《18～29歳 男性》

- ①わからない 56.1%
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている 21.9%
- ③平等である 17.1%
- ④男性の方が非常に優遇されている 4.9%

【国、熊本県調査・前回調査との比較】

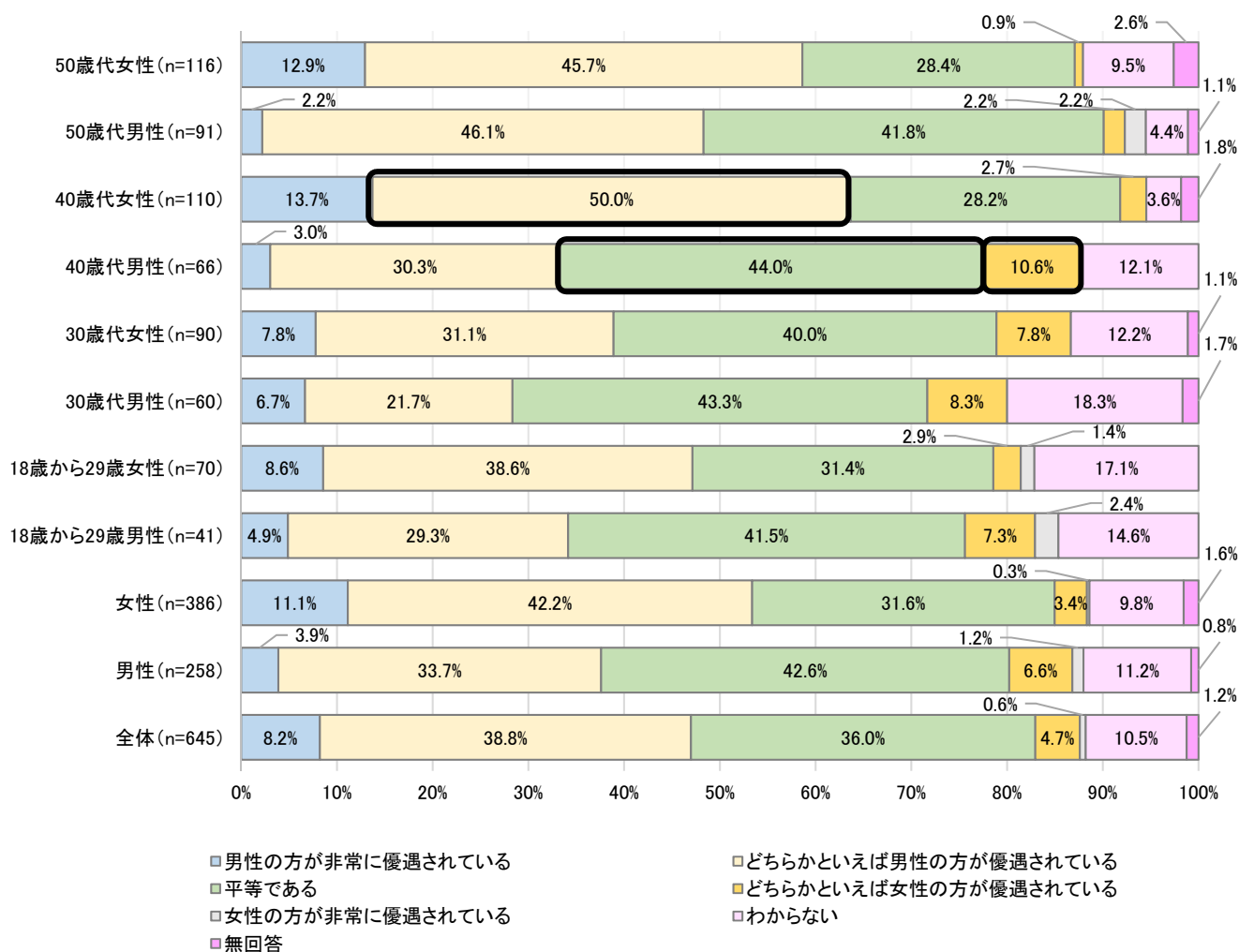


※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」(令和元年度)から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」(令和元年度)から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」(平成28年度)から

(回答の多い順)

国調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	62.8%
熊本県調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	49.6%
前回調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	38.9%
今回調査	① わからない	41.4%

③ 家庭生活では



全体（回答の多い順）

- ①どちらかといえば男性の方が優遇されている 38.8%
- ②平等である 36.0%
- ③わからない 10.5%
- ④男性の方が非常に優遇されている 8.2%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

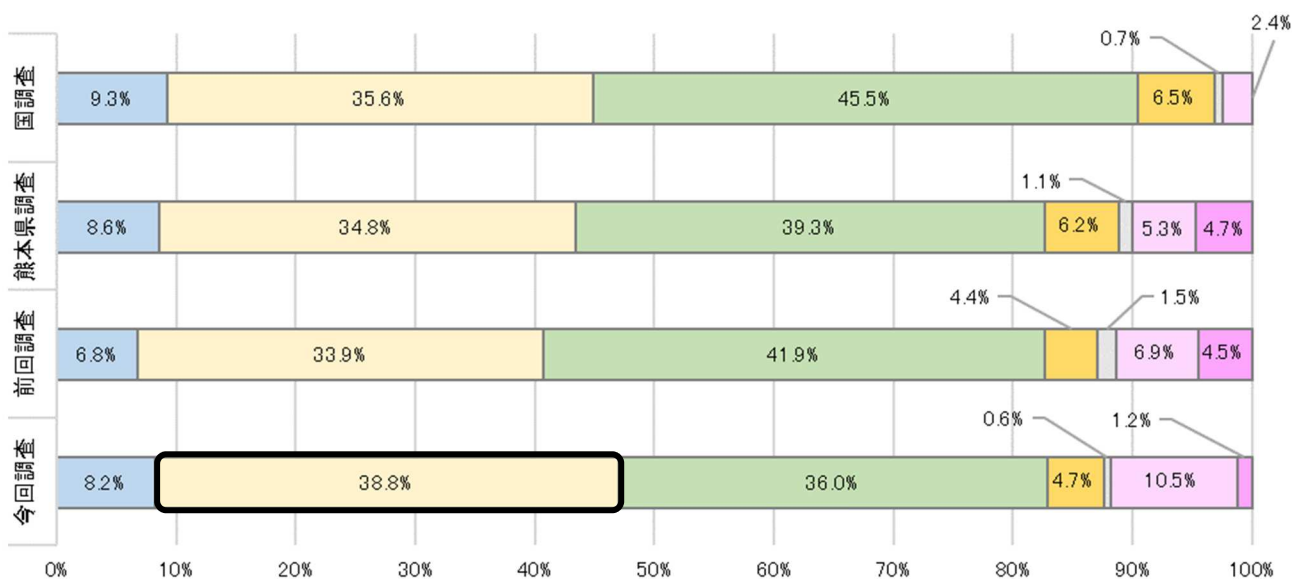
《40歳代 女性》

- ①どちらかといえば男性の方が優遇されている 50.0%
- ②平等である 28.2%
- ③男性の方が非常に優遇されている 13.7%
- ④わからない 3.6%

《40歳代 男性》

- ①平等である 44.0%
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている 30.3%
- ③わからない 12.1%
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている 10.6%

【国、熊本県調査・前回調査との比較】



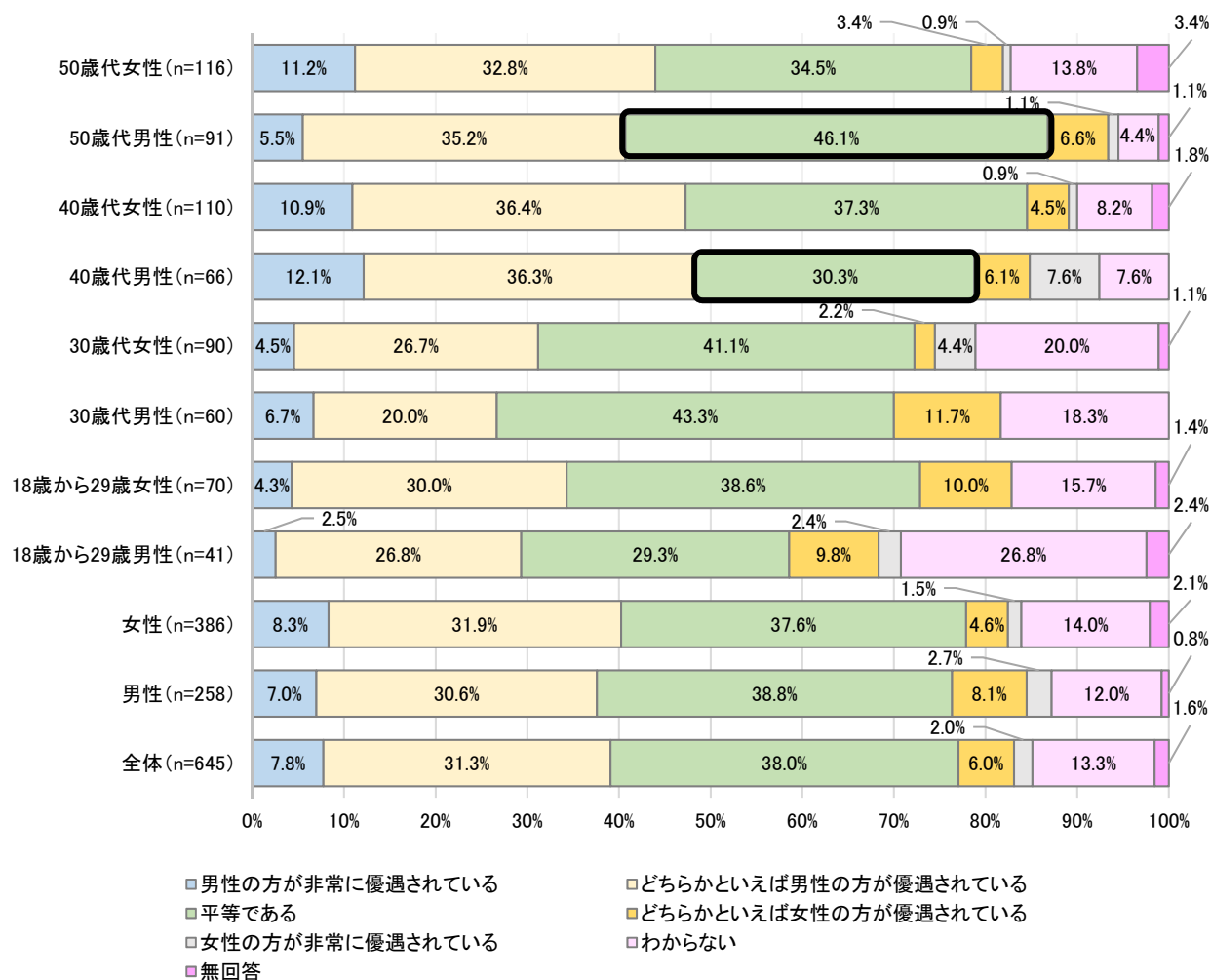
- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」（令和元年度）から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年度）から

（回答の多い順）

国調査	①平等である	45.5%
熊本県調査	①平等である	39.3%
前回調査	①平等である	41.9%
今回調査	① <u>どちらかといえば男性の方が優遇されている</u>	<u>38.8%</u>

④ 職場では



全体（回答の多い順）

- ① 平等である 38.0%
- ② どちらかといえば男性の方が優遇されている 31.3%
- ③ わからない 13.3%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

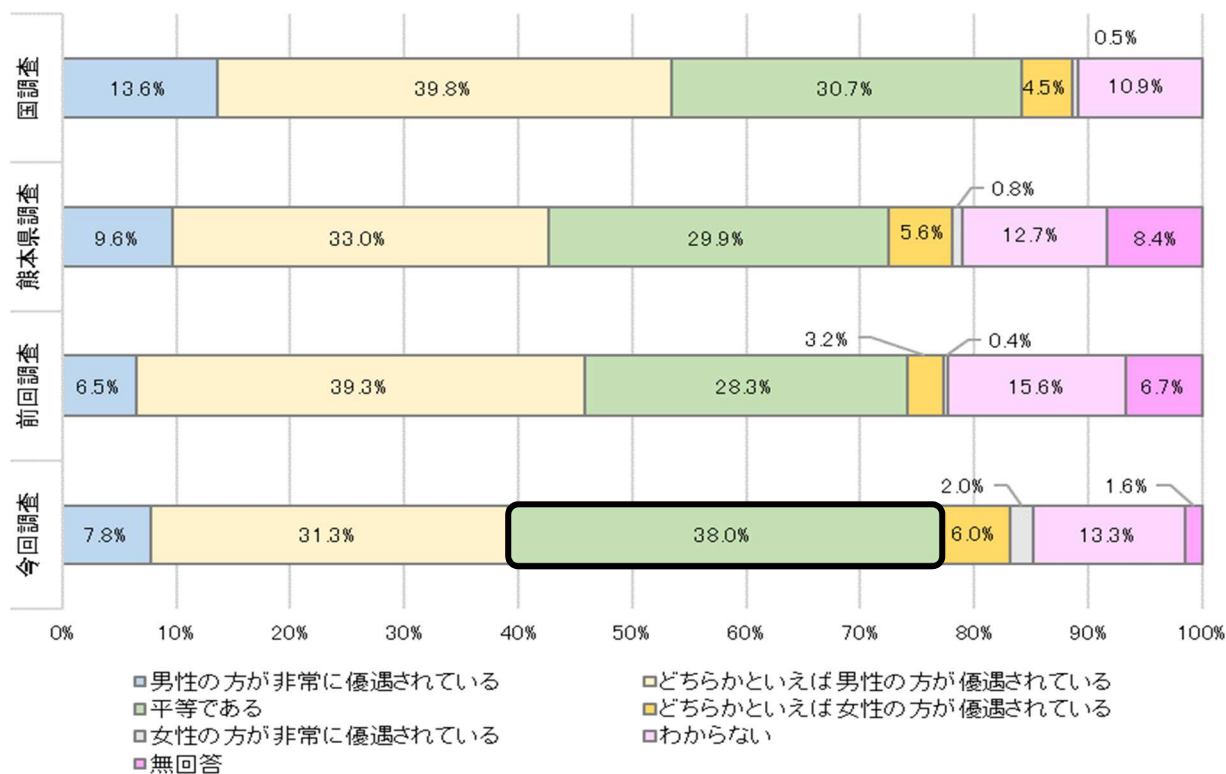
≪50歳代 男性≫

- ① 平等である 46.1%
- ② どちらかといえば男性の方が優遇されている 35.2%
- ③ どちらかといえば女性の方が優遇されている 6.6%

≪40歳代 男性≫

- ① どちらかといえば男性の方が優遇されている 36.3%
- ② 平等である 30.3%
- ③ 男性の方が非常に優遇されている 12.1%

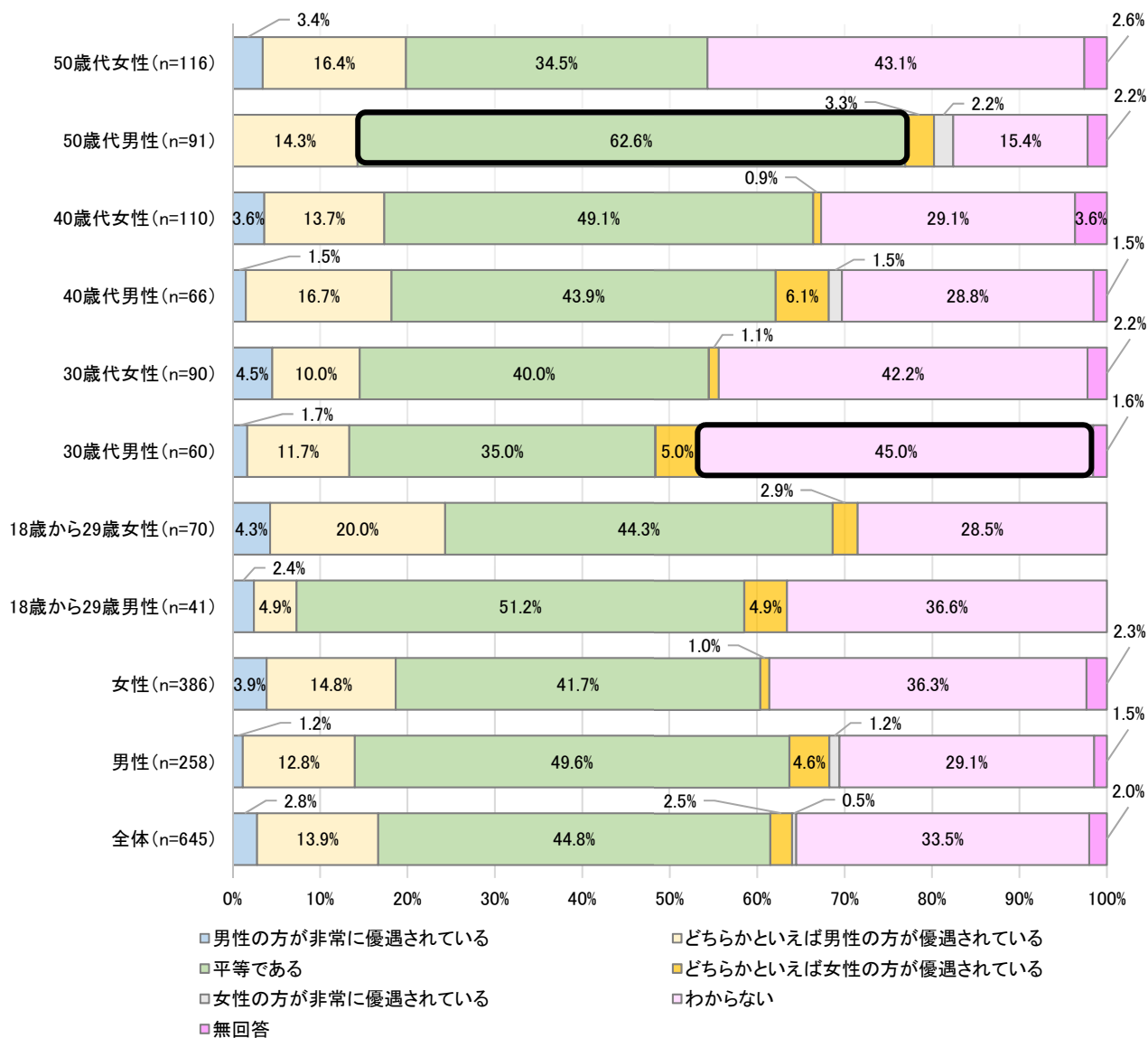
【国、熊本県調査・前回調査との比較】



※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」（令和元年度）から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年度）から

（回答の多い順）		
国調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	39.8%
熊本県調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	33.0%
前回調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	39.3%
今回調査	①平等である	38.0%

⑤ 学校教育の場では



全体（回答の多い順）

- ① 平等である 44.8%
- ② わからない 33.5%
- ③ どちらかといえば男性の方が優遇されている 13.9%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

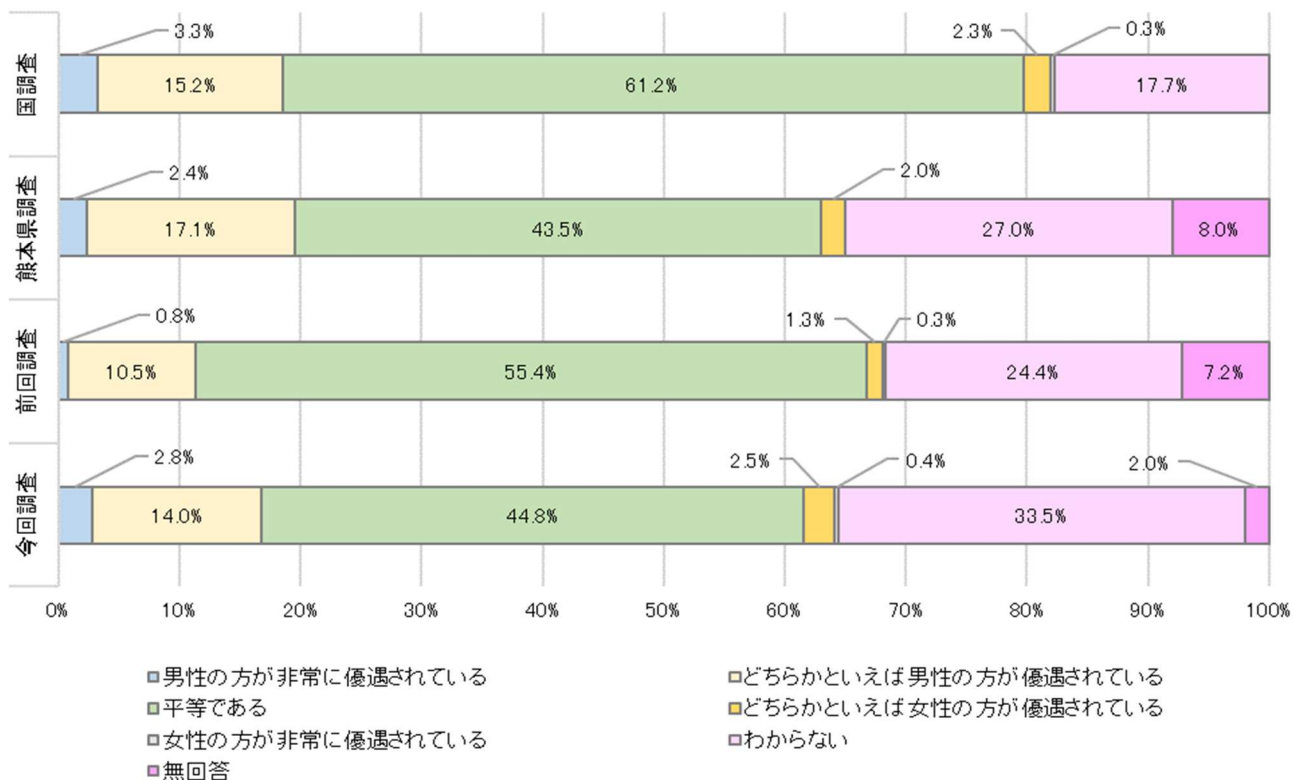
《50歳代 男性》

- ① 平等である 62.6%
- ② わからない 15.4%
- ③ どちらかといえば男性の方が優遇されている 14.3%

《30歳代 男性》

- ① わからない 45.0%
- ② 平等である 35.0%
- ③ どちらかといえば男性の方が優遇されている 11.7%

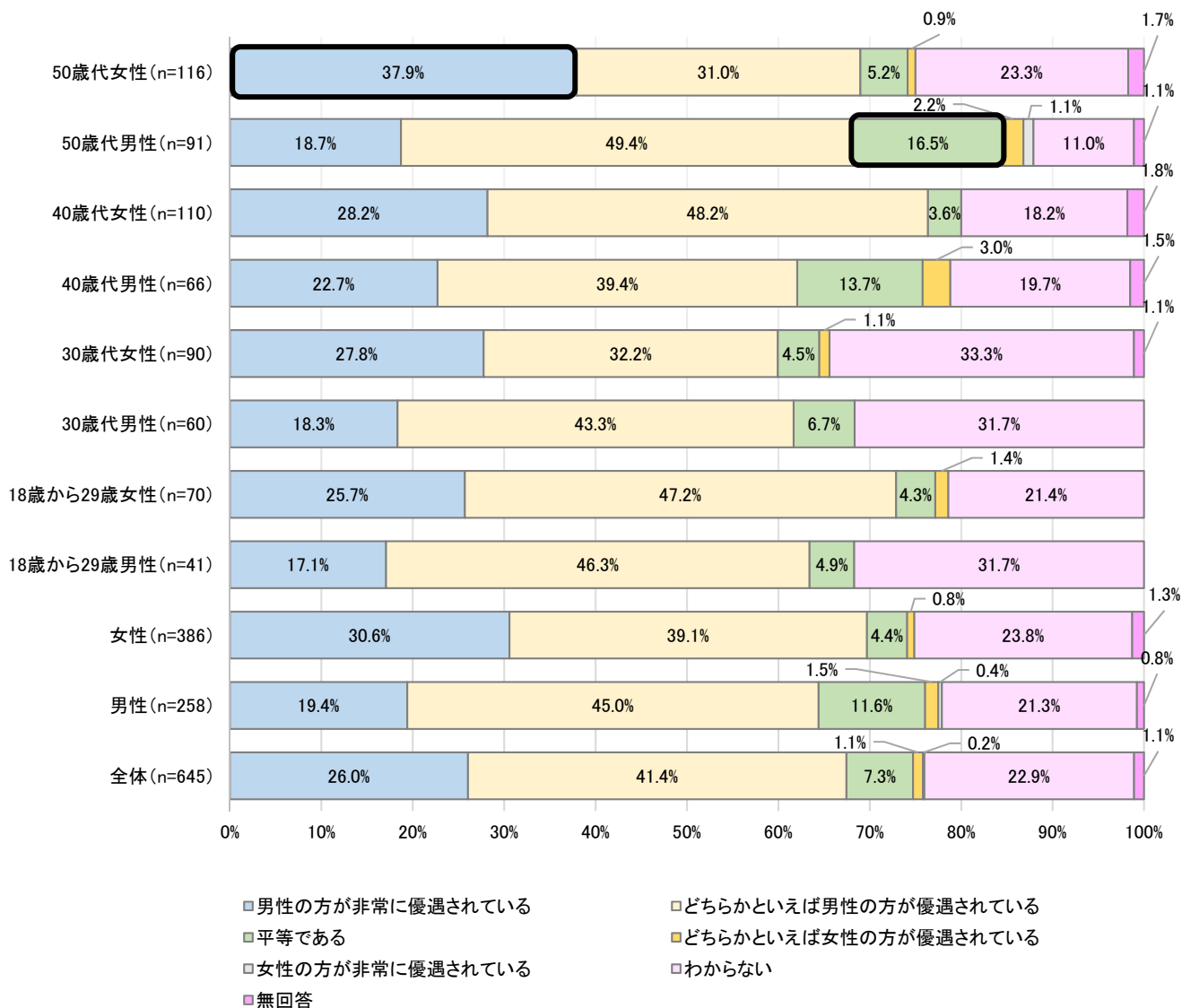
【国、熊本県調査・前回調査との比較】



※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」（令和元年度）から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年度）から

(回答の多い順)		
国調査	①平等である	61.2%
熊本県調査	①平等である	43.5%
前回調査	①平等である	55.4%
今回調査	①平等である	44.8%

⑥ 政治の場では



全体（回答の多い順）

- ① どちらかといえば男性の方が優遇されている 41.4%
- ② 男性の方が非常に優遇されている 26.0%
- ③ わからない 22.9%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

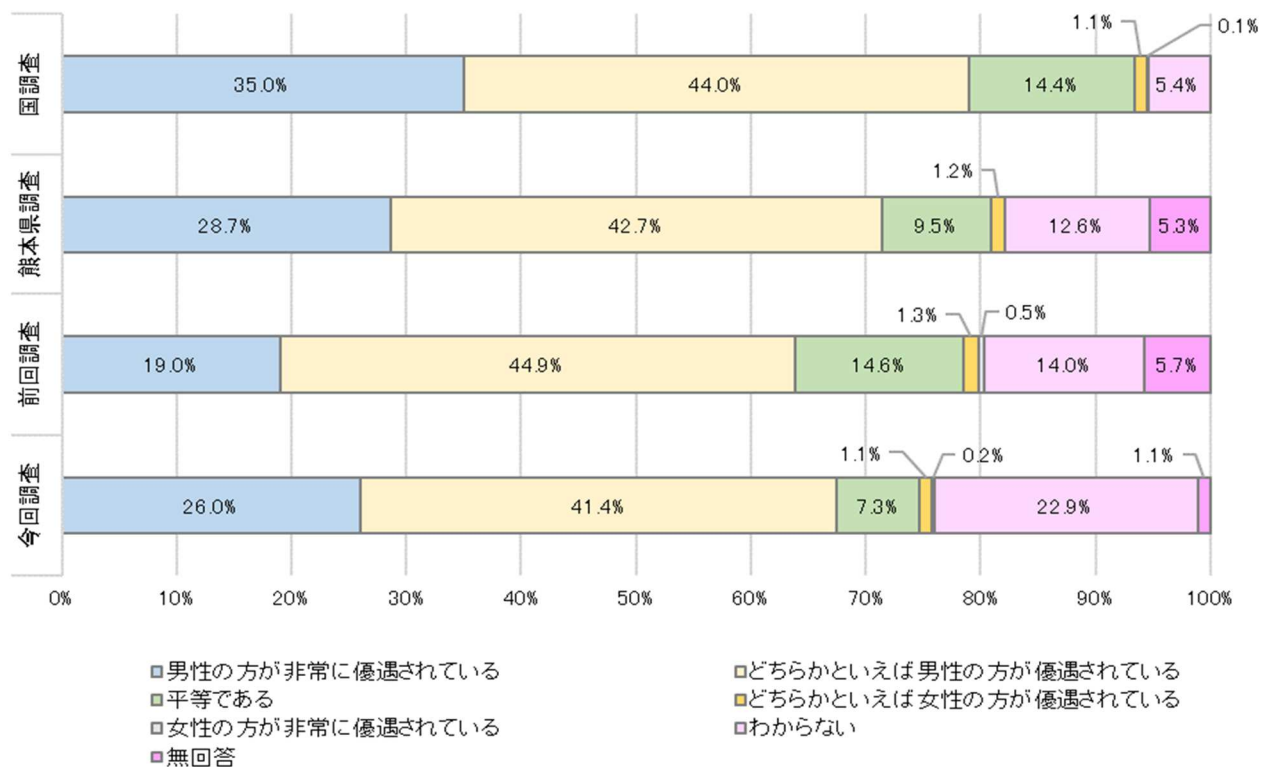
《50歳代 女性》

- ① 男性の方が非常に優遇されている 37.9%
- ② どちらかといえば男性の方が優遇されている 31.0%
- ③ わからない 23.3%

《50歳代 男性》

- ① どちらかといえば男性の方が優遇されている 49.4%
- ② 男性の方が非常に優遇されている 18.7%
- ③ 平等である 16.5%

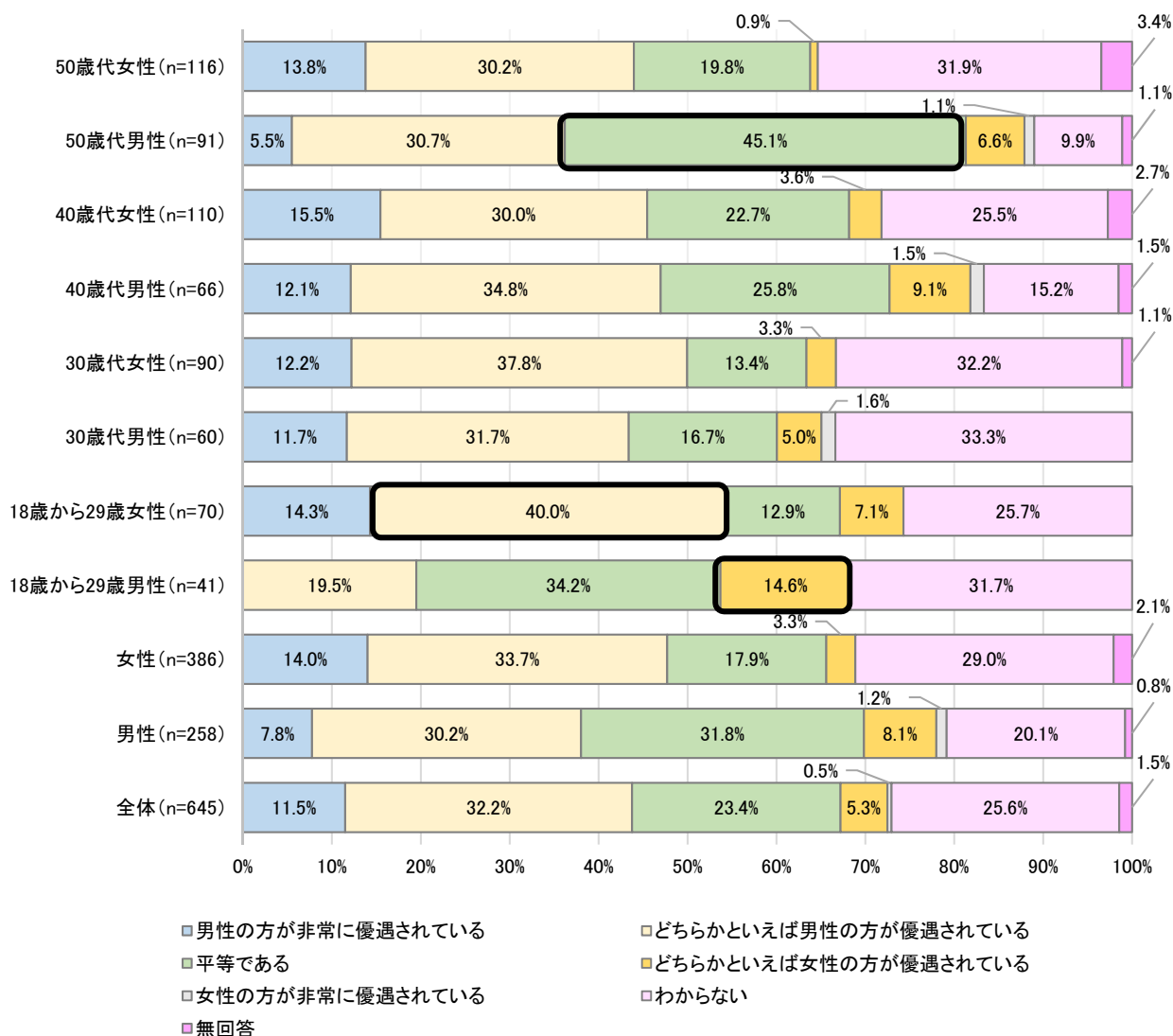
【国、熊本県調査・前回調査との比較】



※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」（令和元年度）から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年度）から

(回答の多い順)		
国調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	44.0%
熊本県調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	42.7%
前回調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	44.9%
今回調査	①どちらかといえば男性の方が優遇されている	41.4%

⑦ 法律や制度の上では



全体（回答の多い順）

- ① どちらかといえば男性の方が優遇されている 32.2%
- ② わからない 25.6%
- ③ 平等である 23.4%
- ④ 男性の方が非常に優遇されている 11.5%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

≪50歳代 男性≫

- ① 平等である 45.1%
- ② どちらかといえば男性の方が優遇されている 30.7%
- ③ わからない 9.9%
- ④ どちらかといえば女性の方が優遇されている 6.6%

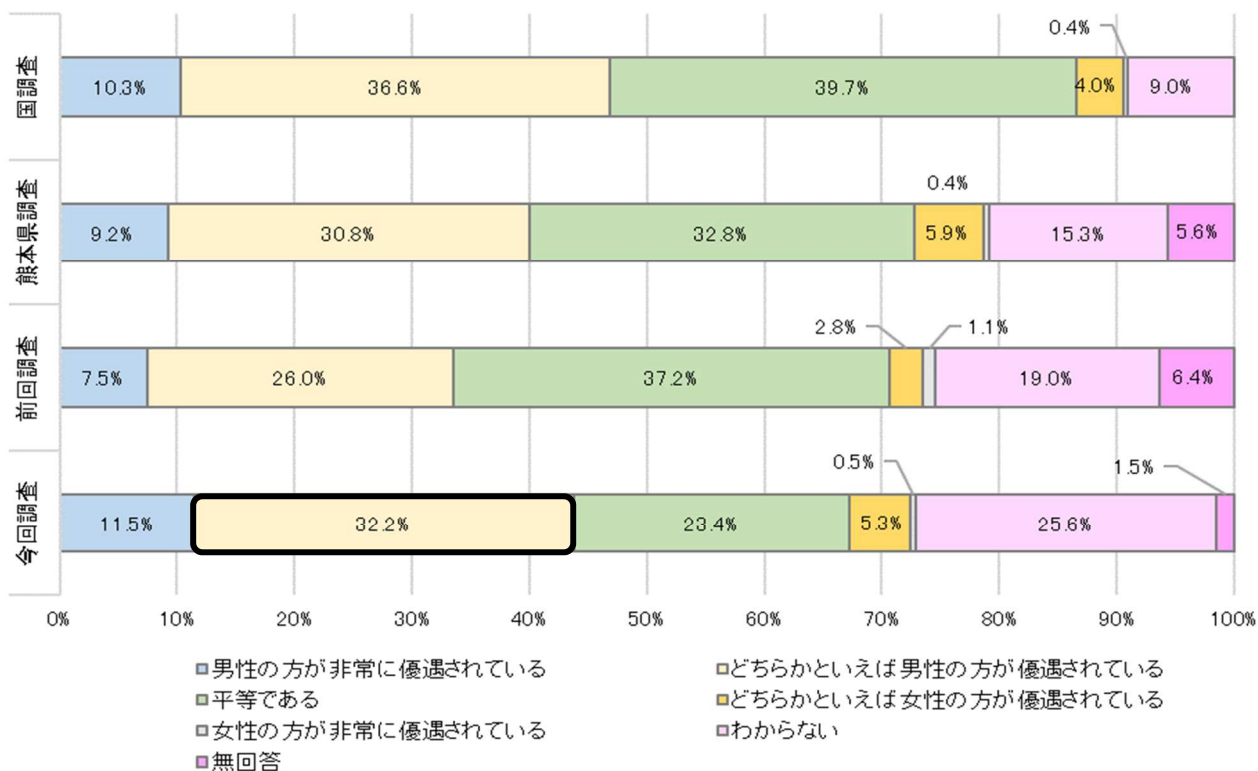
≪18歳から29歳 女性≫

- ① どちらかといえば男性の方が優遇されている 40.0%
- ② わからない 25.7%
- ③ 男性の方が非常に優遇されている 14.3%
- ④ 平等である 12.9%

≪18歳から29歳 男性≫

- ① 平等である 34.2%
- ② わからない 31.7%
- ③ どちらかといえば男性の方が優遇されている 19.5%
- ④ どちらかといえば女性の方が優遇されている 14.6%

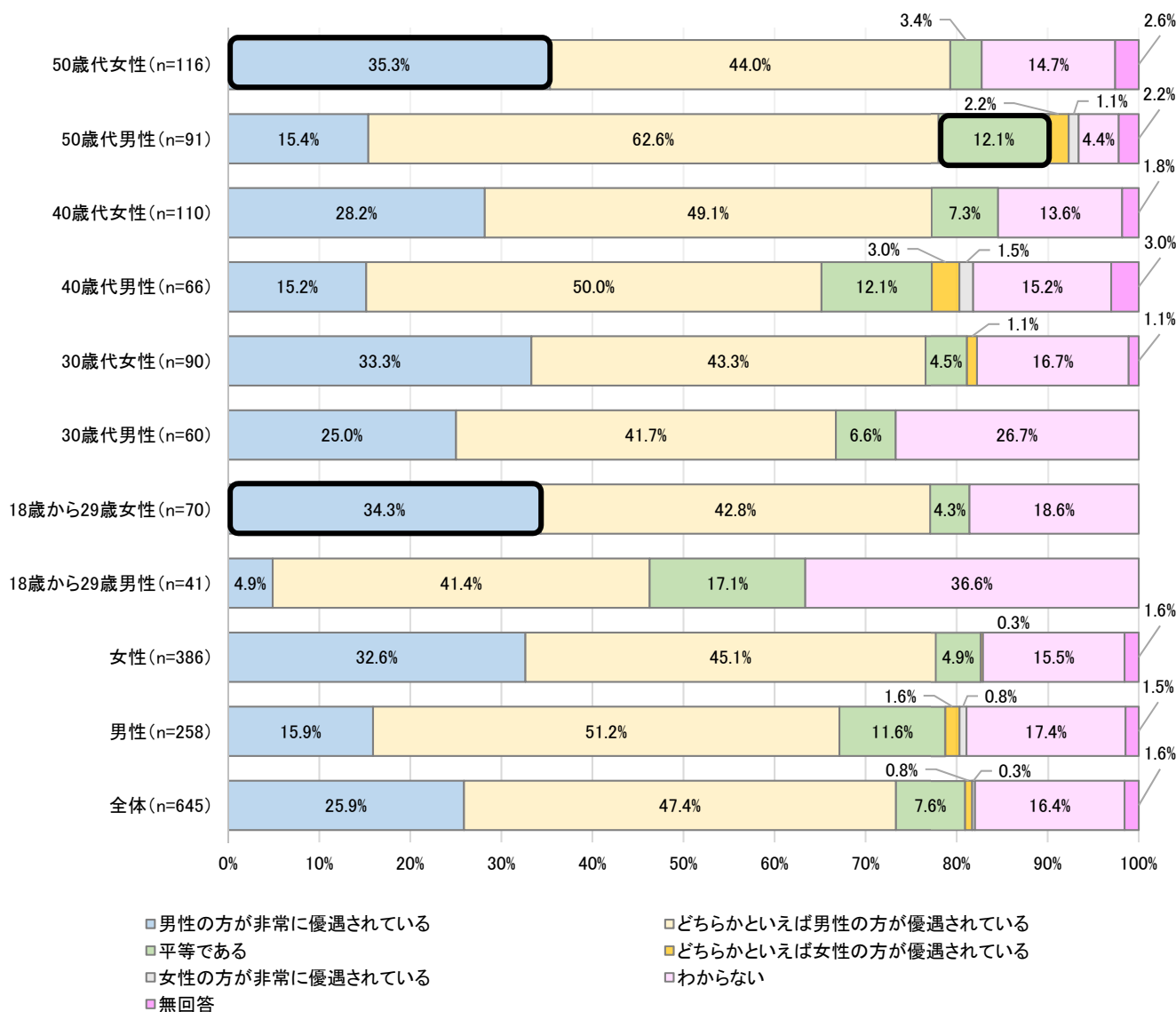
【国、熊本県調査・前回調査との比較】



※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」(令和元年度)から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」(令和元年度)から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」(平成28年度)から

(回答の多い順)	
国調査	①平等である 39.7%
熊本県調査	①平等である 32.8%
前回調査	①平等である 37.2%
今回調査	① <u>どちらかといえば男性の方が優遇されている</u> 32.2%

⑧ 社会通念・慣習・しきたり等では



全体（回答の多い順）

①どちらかといえば男性の方が優遇されている 47.4%

②男性の方が非常に優遇されている 25.9%

③わからない 16.4%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50歳代 女性》

①どちらかといえば男性の方が優遇されている 44.0%

②男性の方が非常に優遇されている 35.3%

③わからない 14.7%

《50歳代 男性》

①どちらかといえば男性の方が優遇されている 62.6%

②男性の方が非常に優遇されている 15.4%

③平等である 12.1%

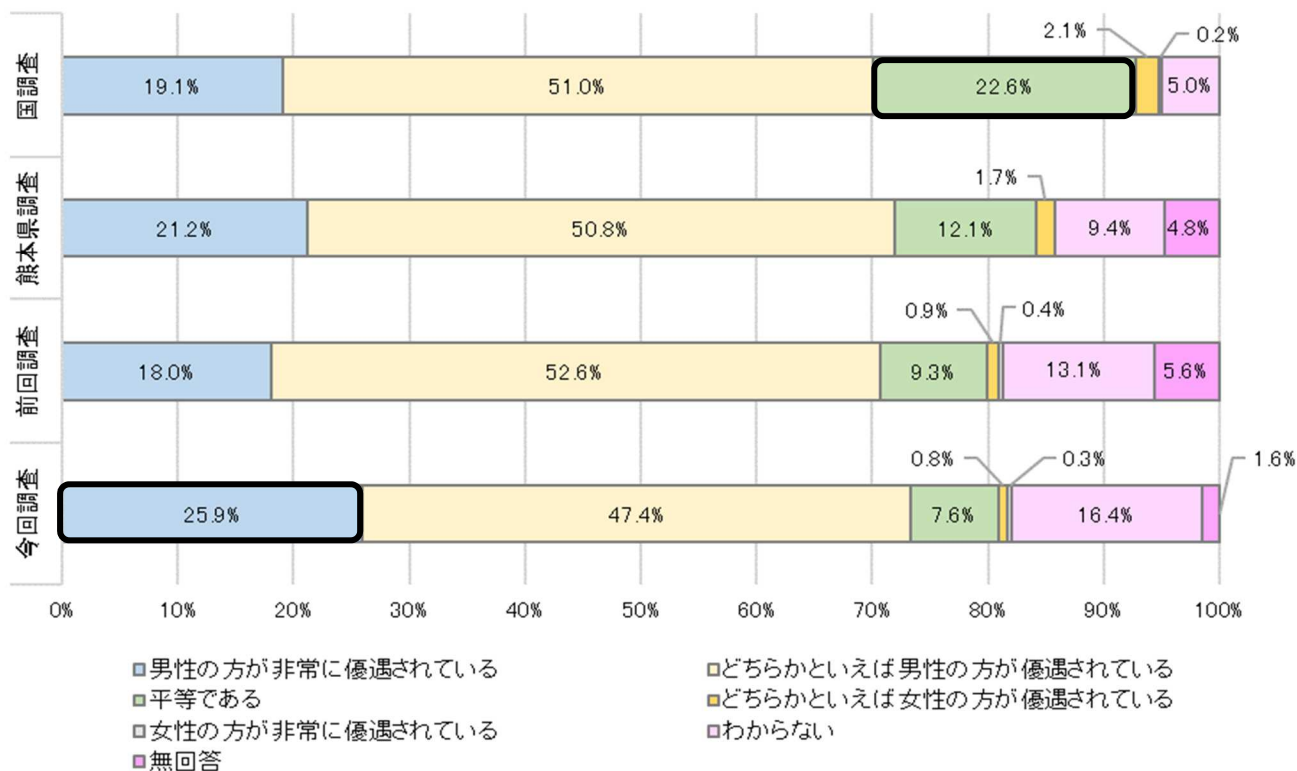
《18歳から29歳 女性》

①どちらかといえば男性の方が優遇されている 42.8%

②男性の方が非常に優遇されている 34.3%

③わからない 18.6%

【国、熊本県調査・前回調査との比較】



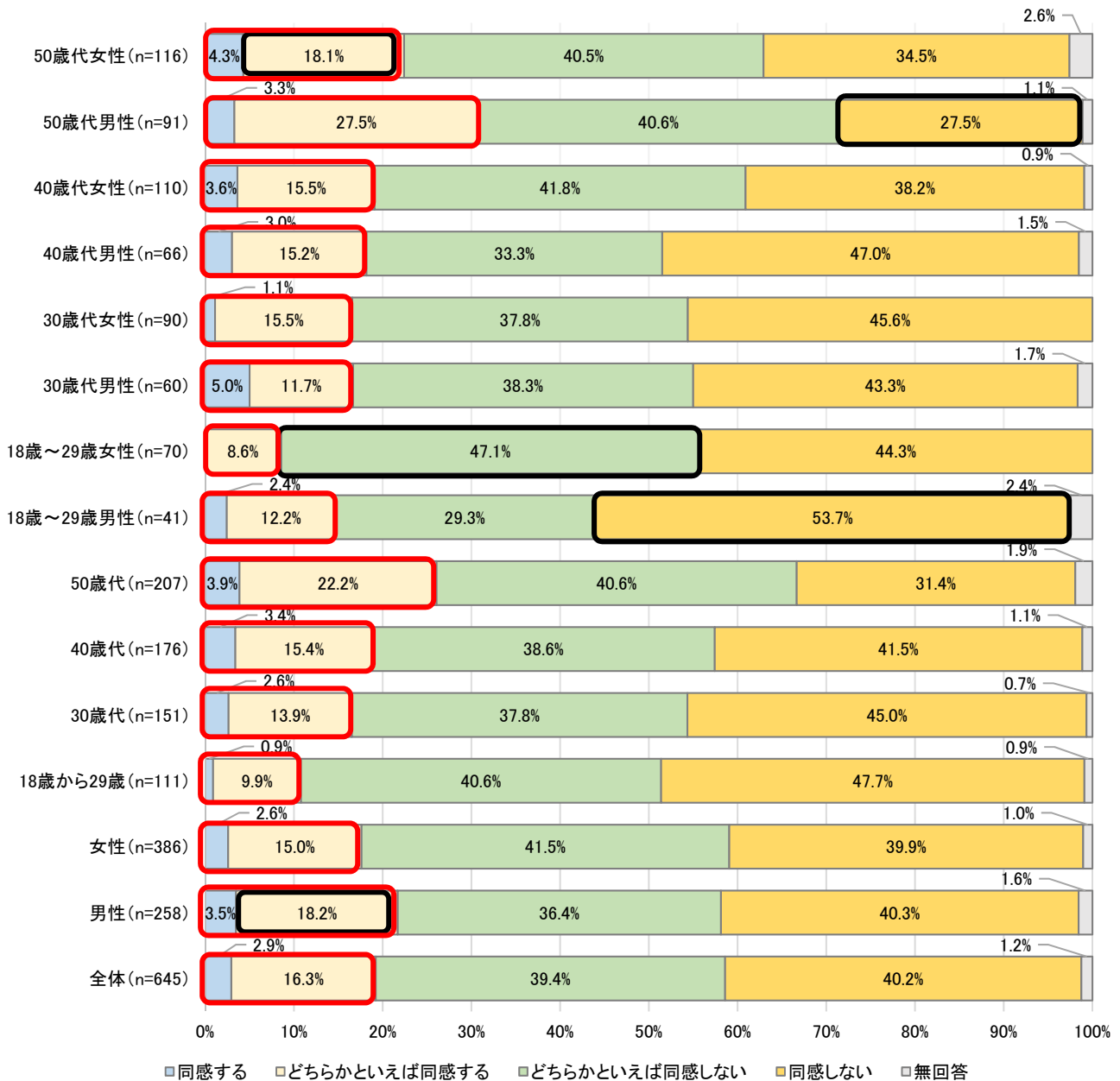
※国調査は内閣府「男女共同参画に関する世論調査」（令和元年度）から
 熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」（令和元年度）から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」（平成28年度）から

（回答の多い順）

国調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	51.0%
	② 平等である	22.6%
熊本県調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	50.8%
	② 男性の方が非常に優遇されている	21.2%
前回調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	52.6%
	② 男性の方が非常に優遇されている	18.0%
今回調査	① どちらかといえば男性の方が優遇されている	47.4%
	② 男性の方が非常に優遇されている	25.9%

(2) 固定的性別役割分担意識

問 16 あなたは、『「男性は主要な業務、女性は補助的業務」などと性別によって役割を固定する考え方』について、どう思いますか。【〇は1つ】



全体 (回答の多い順)

- ①同感しない 40.2%
- ②どちらかといえば同感しない 39.4%
- ③どちらかといえば同感する 16.3%

性別の特徴 (回答の多い順)

《女性》

- ①どちらかといえば同感しない 41.5%
- ②同感しない 39.9%
- ③どちらかといえば同感する 15.0%

《男性》

- ①同感しない 40.3%
- ②どちらかといえば同感しない 36.4%
- ③どちらかといえば同感する 18.2%

性・年代別の特徴（回答の多い順）

《50 歳代 女性》

- ①どちらかといえば同感しない 40.5%
- ②同感しない 34.5%
- ③どちらかといえば同感する 18.1%

《50 歳代 男性》

- ①どちらかといえば同感しない 40.6%
- ②同感しない 27.5%
- ③どちらかといえば同感する 27.5%

《18～29 歳 女性》

- ①どちらかといえば同感しない 47.1%
- ②同感しない 44.3%
- ③どちらかといえば同感する 8.6%

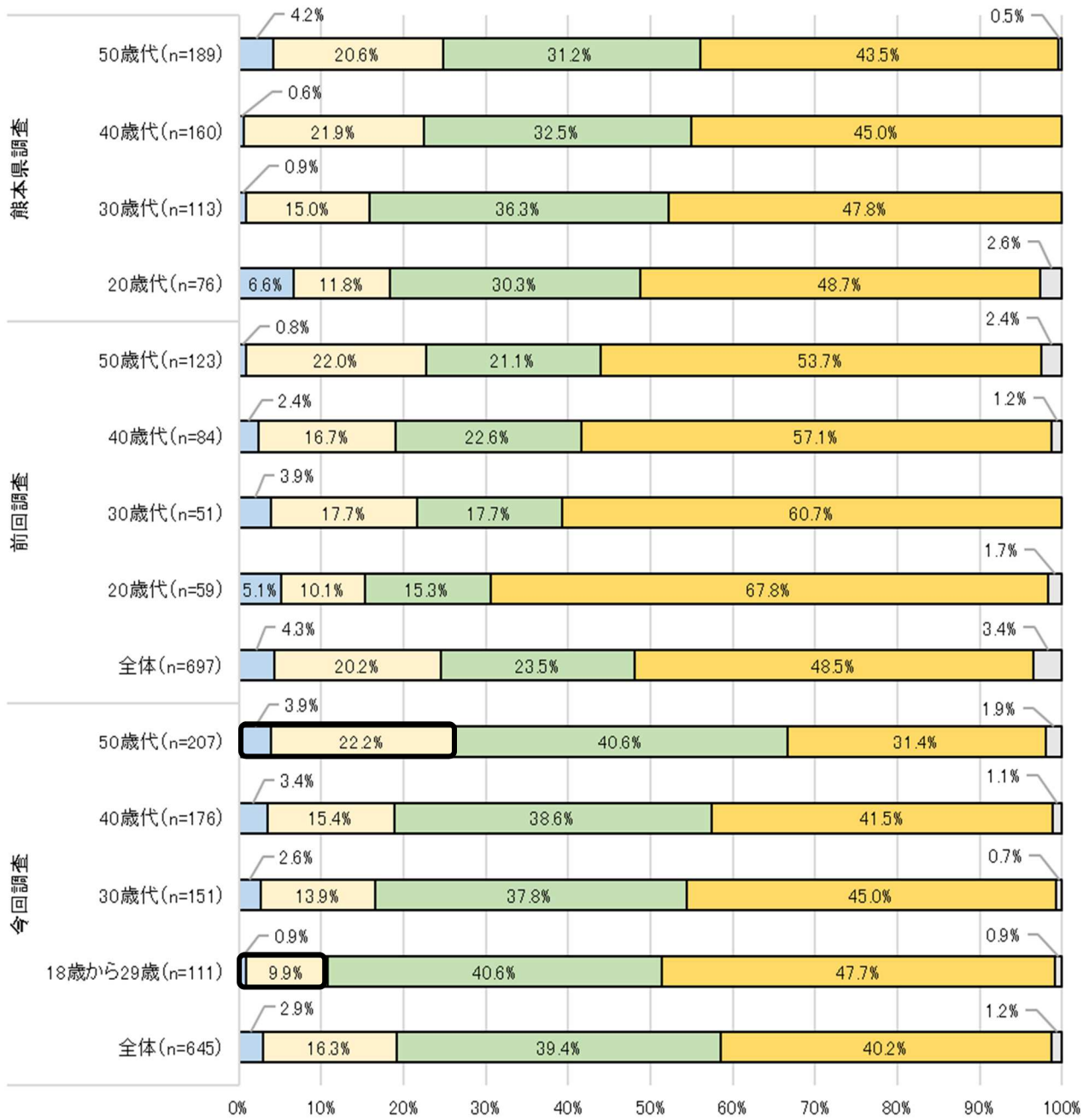
《18～29 歳 男性》

- ①同感しない 53.7%
- ②どちらかといえば同感しない 29.3%
- ③どちらかといえば同感する 12.2%

「同感する」「どちらかといえば同感する」の合計割合（割合が高い順）

50 歳代男性	30.8% (3.3%+27.5%)
50 歳代女性	22.4% (4.3%+18.1%)
40 歳代女性	19.1% (3.6%+15.5%)
40 歳代男性	18.2% (3.0%+15.2%)
30 歳代男性	16.7% (5.0%+11.7%)
30 歳代女性	16.6% (1.1%+15.5%)
18～29 歳男性	14.6% (2.4%+12.2%)
18～29 歳女性	8.6% (0.0%+8.6%)

【熊本県調査・前回調査との比較】



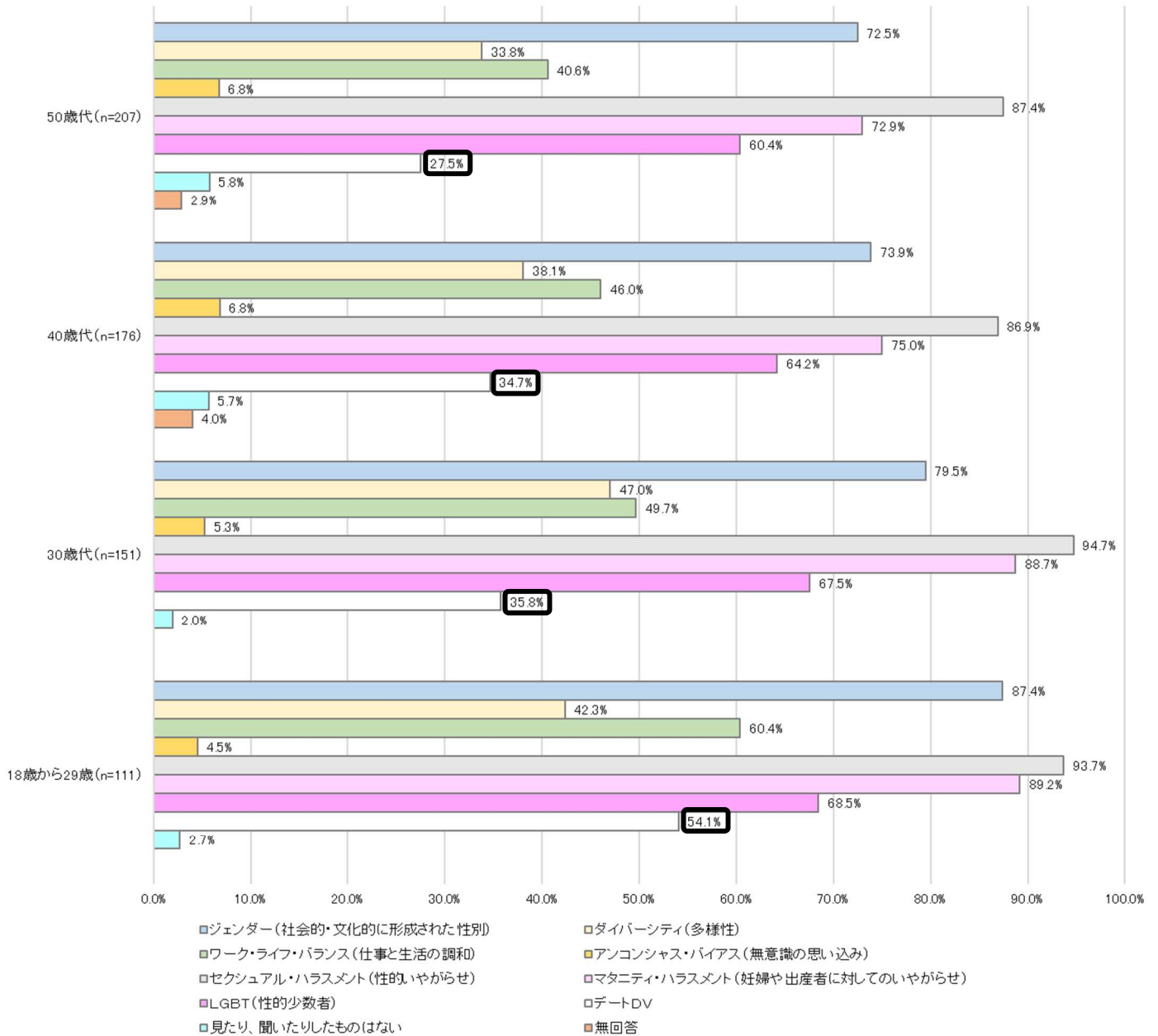
□同意する □どちらかといえば同意する □どちらかといえば同意しない □同意しない □無回答

※熊本県調査は熊本県「男女共同参画に関する県民意識調査」(令和元年度)から
 前回調査は山鹿市「人権教育・啓発及び男女共同参画に関する市民意識調査」(平成28年度)から

「同意する」「どちらかといえば同意する」の合計割合				
熊本県調査	50歳代 : 24.8%	40歳代 : 22.5%	30歳代 : 15.9%	20歳代 : 18.4%
前回調査	50歳代 : 22.8%	40歳代 : 19.1%	30歳代 : 21.6%	20歳代 : 15.2%
今回調査	50歳代 : <u>26.1%</u>	40歳代 : 18.8%	30歳代 : 16.5%	18~29歳 : <u>10.8%</u>

(3) 男女共同参画に関する用語の周知度

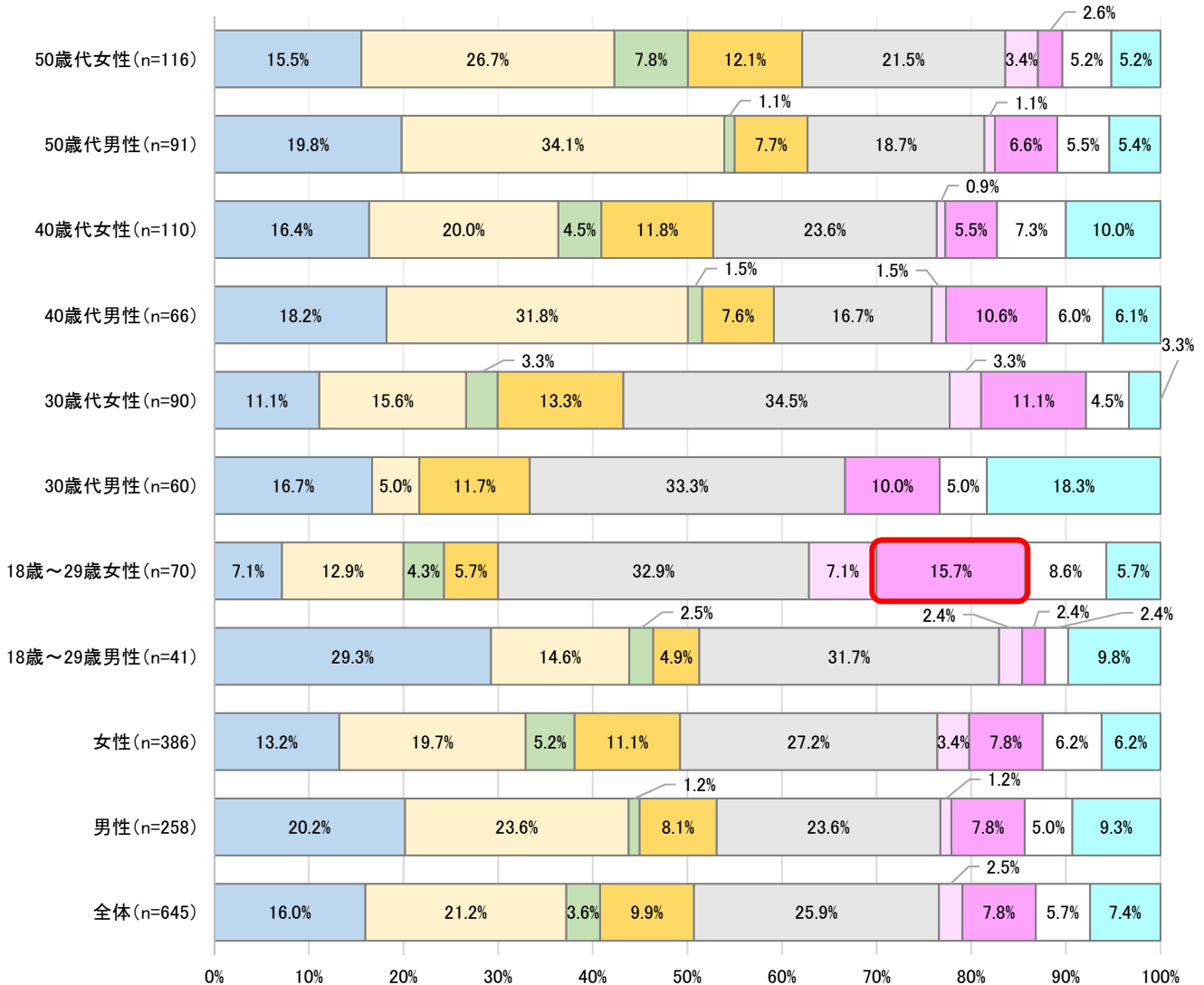
問 17 次の言葉のうち、あなたが見たり、聞いたりしたことがあるものはどれですか。
【当てはまるもの全てに○】



年代別の特徴 (周知度の低い用語順)		
《50歳代》	①アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	6.8%
	②デートDV	27.5%
	③ダイバーシティ (多様性)	33.8%
《40歳代》	①アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	6.8%
	②デートDV	34.7%
	③ダイバーシティ (多様性)	38.1%
《30歳代》	①アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	5.3%
	②デートDV	35.8%
	③ダイバーシティ (多様性)	47.0%
《18~29歳》	①アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	4.5%
	②ダイバーシティ (多様性)	42.3%
	③デートDV	54.1%

(4) 行政が積極的に取り組むべきこと

問 18 あなたが、男女共同参画を推進するために行政が最も積極的に取り組んだほうがよいと思うものはどれですか。【〇は1つ】



- 学校における学習機会の充実
- 政策・方針決定の場への女性の参画の拡大
- 育児・介護等により退職した方への情報提供
- 家庭での性別による固定的な役割分担の意識を是正するための啓発・広報
- 労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進
- DV(配偶者や恋人間等の暴力)・性暴力の根絶を目指した啓発活動
- 保育園・放課後クラブ等の保育サービスの充実
- 避難所等、防災分野における女性への配慮・支援の充実
- 無回答

全体（回答の多い順）

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 25.9%
- ②政策・方針決定の場への女性の参画拡大 21.2%
- ③学校における学習機会の充実 16.0%

性・年代別の特徴（無回答を除き回答の多い順）

《女性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 27.2%
- ②政策・方針決定の場への女性の参画拡大 19.7%
- ③学校における学習機会の充実 13.2%

《男性》

- ①政策・方針決定の場への女性の参画拡大 23.6%
- 労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 23.6%
- ③学校における学習機会の充実 20.2%

《50歳代 女性》

- ①政策・方針決定の場への女性の参画拡大 26.7%
- ②労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 21.5%
- ③学校における学習機会の充実 15.5%

《50歳代 男性》

- ①政策・方針決定の場への女性の参画拡大 34.1%
- ②学校における学習機会の充実 19.8%
- ③労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 18.7%

《40歳代 女性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 23.6%
- ②政策・方針決定の場への女性の参画拡大 20.0%
- ③学校における学習機会の充実 16.4%

《40歳代 男性》

- ①政策・方針決定の場への女性の参画拡大 31.8%
- ②学校における学習機会の充実 18.2%
- ③労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 16.7%

《30歳代 女性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 34.5%
- ②政策・方針決定の場への女性の参画拡大 15.6%
- ③家庭での性別による固定的な役割分担の意識を是正するための啓発・広報 13.3%

《30歳代 男性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 33.3%
- ②学校における学習機会の充実 16.7%
- ③家庭での性別による固定的な役割分担の意識を是正するための啓発・広報 11.7%

《18～29歳代 女性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 32.9%
- ②保育園・放課後クラブ等の保育サービスの充実 15.7%
- ③政策・方針決定の場への女性の参画拡大 12.9%

《18～29歳代 男性》

- ①労働時間短縮や育児・介護休業制度の活用促進 31.7%
- ②学校における学習機会の充実 29.3%
- ③政策・方針決定の場への女性の参画拡大 14.6%